



## **Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE/7942/7961G/7961G-GE/7962 ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)**

初版：2012年1月1日

最終更新：2012年6月18日

### **シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

**FCC クラス A 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

**FCC クラス B 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



## 目次

### はじめに **xiii**

概要 **xiii**

追加情報 **xiv**

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル **xv**

安全性と性能に関する情報 **xv**

停電 **xv**

外部デバイス **xv**

シスコ製品のセキュリティ **xvi**

アクセシビリティ機能 **xvi**

### 電話機の機能 **1**

ボタンとハードウェア **1**

Cisco Unified IP Phone 7962G **2**

Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE **2**

Cisco Unified IP Phone 7942G **3**

Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE **3**

ボタンおよびハードウェアの ID **4**

回線とコールの定義 **6**

回線およびコールのアイコン **6**

電話スクリーンの機能 **7**

電話スクリーンのクリーニング **9**

機能ボタンとメニューについて **9**

電話機のヘルプ システム **10**

機能の Availability **10**

SIP および SCCP シグナリング プロトコル **12**

電力の節約 **12**

### 電話機の設置 **13**

Cisco Unified IP Phone のケーブルの設置	13
フックスイッチクリップの取り外し (必須)	14
ハンドセット受け台の調整	14
フットスタンドの調節	15
電話機のケーブルロック	16
TAPS 登録	16
有線およびワイヤレス ヘッドセット	16
ヘッドセットのサポート	17
音声品質	17
ワイヤレス ヘッドセットの品揃え (Cisco Unified IP Phone 7962G または 7942G)	17
コール機能	19
基本的なコール操作	19
コールの発信	20
スピーカフォンを使用したコールの発信	20
ヘッドセットを使用したコールの発信	21
番号のリダイヤル	21
別のコールがアクティブなときのコールの発信 (同じ回線を使用)	21
通話履歴からのダイヤル	21
その他のコール オプション	22
別のコールがアクティブなときのコールの発信 (異なる回線を使用)	22
Cisco WebDialer を使用したパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからのダ イヤル	23
ビジューまたは呼び出し中の内線が使用可能になったときの通知 (折返し)	23
プライオリティ (Precedence) コール	23
課金またはトラッキング コードを使用したコール	23
モバイル ボイス アクセスを使用した携帯電話からのコール	24
PAB を使用したコール	24
スピード ダイヤル コール	25
電話機の社内ディレクトリからのダイヤル	25
個人アドレス帳 (PAB) のエン트리へのダイヤル	25
ファスト ダイヤル コール	25

コールへの応答	26
コールの切断	28
保留と再開	28
コールの保留	29
現在の回線での保留の解除	29
異なる回線での保留の解除	29
ミュート	30
コールのミュートまたはミュート解除	30
複数のコール	30
別の回線のコールの表示	31
コールの概要モードへの切り替え	31
同じ回線で接続されているコール間の切り替え	31
異なる回線で接続されているコール間の切り替え	32
呼び出し中のコールに応答するための接続コールからの切り替え	32
進行中のコールの移動	32
進行中のコールのデスクの電話機から携帯電話への切り替え	32
携帯電話からデスクの電話機への進行中のコールの切り替え	33
進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機への切り替え (セッションハンドオフ)	33
コール転送	33
転送先の相手と会話しないコール転送	34
転送先の相手と会話してからコールの転送 (打診転送)	34
ボイス メッセージ システムへのコールの転送	34
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールのボイス メッセージ システムへの 送信	35
コール転送	35
コール転送の設定またはキャンセル	36
電話機からの不在転送の設定およびキャンセル	37
サイレント	37
DND のオンおよびオフの切り替え	37
サイレント設定のセットアップ	38
電話会議	38

アドホック会議	39
参加者へのコールの発信による会議の開催	39
会議への新しい参加者の追加	39
会議への参加	39
単一電話回線の既存コールの結合	40
複数の電話回線の既存コールの結合	40
会議への割り込み	41
共有回線へのコールの割り込みによる会議の開催	41
ミーティング会議	41
ミーティング会議の開催	41
ミーティング会議への参加	42
会議の参加者リスト	42
参加者リストを使用した会議の制御	42
電話会議のセキュリティの確認	43
インターコム コール	43
事前定義されたインターコム番号へのインターコム コールの発信	44
任意のインターコム番号へのインターコム コールの発信	44
インターコム コールの受信	44
応用的なコール処理	45
スピードダイヤル	45
スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信	45
オンフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信	46
ファストダイヤルを使用したコールの発信	46
コール ピックアップ	46
コールピックアップグループ内の別の内線で呼出音が鳴っているコールへの 応答	47
コール ピックアップ グループ外の別の内線の呼び出し中コールへの応答	47
グループまたは関連グループ内の別の内線での呼び出し中コールへの応答	47
特定の内線（回線番号）で呼び出し中のコールへの応答	48
コールパーク	48
コールパークを使用したアクティブ コールの保存および受け取り	49
アクティブなコールのダイレクトコールパーク番号への転送および保存	49

アクティブなコールの処理されたダイレクトコールパーク番号への転送、保存、取得	49
パークされたコールのダイレクトコールパーク番号からの取得	50
ダイレクトコールパーク番号からのパークされたコールの取得	50
ハントグループ	50
ハントグループのログインおよびログアウト	51
共有回線	51
リモートで使用中のアイコン	51
コール情報と割り込み	51
プライバシー	51
割り込み、C 割り込み、および共有回線のコール	52
ワンボタンまたはマルチタッチ割り込み	52
割り込み機能	52
プライバシーおよび共有回線	53
他者による共有回線のコールの表示およびコールへの割り込みの許可	54
ビジー ランプ フィールド機能	54
BLF ピックアップを使用した呼び出し中のコールへの応答	55
セキュアなコール	55
VPN クライアント	57
不審なコールのトレース	58
不審なコールまたは嫌がらせのコール受信のシステム管理者への通知	58
プライオリティ コール	58
Cisco エクステンション モビリティ	60
EM へのログイン	61
EM からのログアウト	61
[クレデンシャルの変更] サービスを使用した PIN の変更	61
[PIN の変更] ソフトキーを使用した PIN の変更	62
1 つの電話番号を使用したビジネス コール	62
モバイル コネクトおよびモバイル ボイス アクセス	62
携帯電話で応答したコールの保留	64
モバイル ボイス アクセスへの接続	64
携帯電話からのモバイル コネクトの有効化	64

携帯電話からのモバイル コネクトの無効化	65
すべてのリモート接続先へのモバイル コネクトアクセスのデスクトップ 電話機での有効化または無効化	65
<b>ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン</b>	<b>67</b>
ハンドセット	67
ヘッドセット	68
ワイヤレス ヘッドセット	68
ワイドバンドヘッドセット	69
スピーカフォン	69
ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答	69
<b>電話機のカスタマイズ</b>	<b>71</b>
呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ	71
回線ごとの呼出音の変更	72
電話機の音量レベルの調整	72
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ビープ音のみ）の変更	72
オーディオボイスメッセージインジケータの変更	73
ハンドセットのボイスメッセージランプの動作の変更	73
電話スクリーンのカスタマイズ	73
電話スクリーンのコントラストの変更	73
背景画像の変更	74
電話スクリーンの言語の変更	74
回線テキストラベルの変更	74
<b>通話履歴とディレクトリ</b>	<b>75</b>
通話履歴	75
通話履歴の表示	76
1つのコールレコードの詳細表示	76
すべての履歴からすべてのコールレコードの消去	77
1つの履歴からすべてのコールレコードの消去	77
1つのコールレコードの削除	77
通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）	78
通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続した状態）	78
通話履歴内の URL エントリからのコールの発信	79

不在履歴および着信履歴からの国際コールのリダイヤル	80
ディレクトリ機能	80
社内ディレクトリ	80
社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続していない状態）	81
社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続している状態）	81
パーソナルディレクトリ	82
パーソナルディレクトリへのアクセス（PABおよびファストダイヤルコードの検索のため）	82
PAB エントリの検索	83
PAB エントリからのダイヤル	83
PAB エントリの削除	83
PAB エントリの編集	84
新規 PAB エントリの追加	84
PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て	84
ファストダイヤルコードの検索	85
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	85
ファストダイヤルコードの削除	85
パーソナルディレクトリからのログアウト	85
ボイス メッセージ	87
ボイス メッセージ ID	87
ボイス メッセージ サービスの個人設定	88
ボイス メッセージの確認またはボイス メッセージ メニューへのアクセス	88
ユーザ オプション Web ページ	89
ユーザ オプション Web ページの操作	89
ユーザ オプション Web ページへのログイン、ログアウト	89
ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択	90
ログイン後の設定オプションの選択	90
Web 上での機能およびサービスの設定	91
Web でのパーソナルディレクトリ	91
個人アドレス帳エントリの新規追加	91
ボタンへの個人アドレス帳の割り当て	92
個人アドレス帳エントリの編集	92

個人アドレス帳エントリの削除	93
Web でのファストダイヤル	93
ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て	93
電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て	94
回線ボタンのファストダイヤルへの割り当て	94
ファストダイヤルエントリの検索	95
ファストダイヤル電話番号の編集	95
個人アドレス帳のファストダイヤルエントリを削除する	95
アドレス帳同期ツール	95
Web でのスピードダイヤルの設定	96
スピードダイヤルコードを設定する	96
短縮ダイヤルコードの設定	96
Web での電話サービスの設定	97
サービスへの登録	97
サービスの検索	98
サービスの変更または解除	98
サービス名の変更	98
プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加	98
Web でのユーザ設定	99
ブラウザのパスワードの変更	99
PIN の変更	100
ユーザ オプション Web ページの言語設定の変更	100
電話機のディスプレイの言語の変更	100
Web での回線設定	101
回線ごとのコール転送の設定	101
回線ごとのボイス メッセージ インジケータ設定の変更	101
回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定変更	102
電話機ディスプレイの回線テキスト ラベルの編集	102
モバイル コネクト用、電話機およびアクセス リストの設定	102
アクセス リストの作成	103
WebDialer の初期設定の設定、表示、または変更	103

新しいリモート接続先の追加	104
Cisco WebDialer	105
ユーザ オプション ディレクトリでの WebDialer の使用	105
別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザ オプションディレクトリではないもの）での WebDialer の使用	106
WebDialer からのログアウト	106
WebDialer の初期設定の設定、表示、または変更	106
その他のオプション	109
トラブルシューティング	113
問題	113
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	113
ソフトキーが表示されない	114
割り込みが不可能で速いビジー音が聞こえる	114
割り込み後のコールの切断	115
設定メニューにアクセスできない	115
折返しが使用できない	115
すべてのコールの転送エラー メッセージ	115
セキュリティ エラー メッセージ	116
電話機が反応しない	116
電話スクリーンが明るすぎるまたは暗すぎる（Cisco Unified IP Phone 7961G、7961G-GE、7941G、および 7941G-GE）	117
電話スクリーンが明るすぎるまたは暗すぎる（Cisco Unified IP Phone 7962G/7942G）	117
電話機のトラブルシューティング データ	118
品質レポート ツール	118
保証	119
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	119





## はじめに

『Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE/7942/7961G/7961G-GE/7962 ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)』では、Cisco Unified IP Phone 7962G、7942G、7961G、7961G-GE、7941G、および 7941G-GE の設置および使用方法について説明します。

- [概要, xiii ページ](#)
- [追加情報, xiv ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル, xv ページ](#)
- [安全性と性能に関する情報, xv ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, xvi ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, xvi ページ](#)

## 概要

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。本書をよく読み、電話機の機能について十分に理解してください。また、次の表はよく使用する項へのポインタとして参照してください。

目的	操作
電話機について調べる	不明な点があるときは、 <a href="#">?</a> を押してください。
安全情報を参照する	詳細については、 <a href="#">安全性と性能に関する情報, (xv ページ)</a> を参照してください。
電話機を接続する	詳細については、 <a href="#">電話機の設置, (13 ページ)</a> を参照してください。
設置後に電話機を使用する	詳細については、 <a href="#">電話機の機能, (1 ページ)</a> を参照してください。

目的	操作
ボタン ライトの意味を調べる	詳細については、 <a href="#">ボタンとハードウェア</a> 、(1 ページ) を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	詳細については、 <a href="#">回線とコールの定義</a> 、(6 ページ) を参照してください。
コールを発信する	詳細については、 <a href="#">基本的なコール操作</a> 、(19 ページ) を参照してください。
コールを保留にする	詳細については、 <a href="#">保留と再開</a> 、(28 ページ) を参照してください。
ミュートにする	詳細については、 <a href="#">ミュート</a> 、(30 ページ) を参照してください。
コールを転送する	詳細については、 <a href="#">コール転送</a> 、(33 ページ) を参照してください。
会議コールを発信する	詳細については、 <a href="#">電話会議</a> 、(38 ページ) を参照してください。
スピードダイヤルを設定する	詳細については、 <a href="#">スピードダイヤル</a> 、(45 ページ) を参照してください。
電話番号を共有する	詳細については、 <a href="#">共有回線</a> 、(51 ページ) を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	詳細については、 <a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン</a> 、(67 ページ) を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	詳細については、 <a href="#">電話機のカスタマイズ</a> 、(71 ページ) を参照してください。
不在履歴を表示する	詳細については、 <a href="#">通話履歴とディレクトリ</a> 、(75 ページ) を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	詳細については、 <a href="#">ボイス メッセージ</a> 、(87 ページ) を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を確認する	このガイドの冒頭のクイック リファレンス カードを参照してください。

## 追加情報

次の URL からシスコ製品の最新資料を入手することができます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)

次の URL で Cisco Web サイトにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/>

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cuiphp/all\\_models/openssl\\_license/7900\\_ssllic.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuiphp/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html)

# Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル

(SCCP 電話機のみ)。

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルでは、音声とアニメーションにより基本的なコール機能が説明されています。いくつかの電話機のモデルでは、ご使用のパーソナルコンピュータから e-ラーニング チュートリアルにオンラインでアクセスできます。ご使用の電話機のモデルの e-ラーニング チュートリアル (英語のみ) を探すには、次の URL でマニュアルの一覧を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)



(注) e-ラーニング チュートリアルは一部の Cisco Unified IP Phone では用意されていない場合があります。ただし、Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルを参照すると、Cisco Unified IP Phone に共通する機能の概要を学ぶことができます。

## 安全性と性能に関する情報

次の項では、停電および外部デバイスがご使用の Cisco Unified IP Phone に与える影響について説明します。

### 停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。停電が発生した場合、電源が回復するまで、利用および緊急コールサービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

### 外部デバイス

シスコでは、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど)、ケーブル、コネクタの使用を推奨しています。

これらデバイスの品質および携帯電話や送受信兼用無線機などの他のデバイスとの近さによっては、まだ雑音が生じることがあります。そのような場合、シスコは次の対策の1つ以上を講じることを推奨します。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイス用のケーブル上にフェライトまたはその他類似のデバイスを使用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタの性能は保証できません。



注意

EU 諸国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットのみを使用してください。

## シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL を参照してください。

[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html)

## アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズは、視覚、聴覚、および運動が不自由な方向けにアクセシビリティ機能を用意しています。

これらの電話の詳細については、「[Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series](#)」を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>



# 第 1 章

## 電話機の機能

Cisco Unified IP Phone は、コンピュータで使用するデータ ネットワークを介して音声通信を行うためのすべての機能を搭載した電話機であり、電話機のコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス。
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページからのサービス。
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム。
- [ボタンとハードウェア, 1 ページ](#)
- [回線とコールの定義, 6 ページ](#)
- [電話スクリーンの機能, 7 ページ](#)
- [機能ボタンとメニューについて, 9 ページ](#)
- [機能のアベイラビリティ, 10 ページ](#)
- [SIP および SCCP シグナリング プロトコル, 12 ページ](#)
- [電力の節約, 12 ページ](#)

## ボタンとハードウェア

この項では、電話機のボタンとハードウェアについて説明します。

## Cisco Unified IP Phone 7962G

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## Cisco Unified IP Phone 7961G/7961G-GE

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## Cisco Unified IP Phone 7942G

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## Cisco Unified IP Phone 7941G/7941G-GE

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## ボタンおよびハードウェアの ID

次の表に、電話機のボタンとハードウェアを示します。

	アイテム	説明
1	プログラマブル ボタン 	<p>設定内容に応じて、プログラマブル ボタンを使って次の項目にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線（回線ボタン）とインターコム回線</li> <li>• スピードダイヤルの番号（BLF スピードダイヤル機能を含む、スピードダイヤル ボタン）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシー、保留、転送のボタンなど）</li> </ul> <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール</li> <li> 緑、点滅：保留中のコール</li> <li> オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレントがアクティブ、またはハント グループにログイン中です。</li> <li> オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li> 赤、点灯：リモート回線が使用中（共有回線、BLF の状態またはアクティブなモバイル コネクト コール）</li> </ul>
2	電話スクリーン	コール機能を表示します。
3	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節できます。
4	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします（サービスに応じて異なります）。
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。このボタンを使用して、通話履歴およびディレクトリにアクセスします。
6	ヘルプ ボタン 	ヘルプ メニューを有効にします。

	アイテム	説明
7	設定ボタン 	設定メニューを開閉します。電話スクリーンのコントラストおよび呼出音の設定を変更するために使用します。
8	サービス ボタン 	サービス メニューを開閉します。
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンをオンにすると、ボタンが点灯します。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用できます。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用できます。
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。
16	ハンドセットのランプ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。

## 回線とコールの定義

回線とコールは、混同しやすい用語です。

- **回線**：各回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。お使いの電話機は最大6回線までサポートします。サポートされる回線数は電話機および設定によって異なります。電話機に割り当てられた回線の数は、電話スクリーンの右側で確認します。回線の数は、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- **コール**：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は1本の回線につき4つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。ある時点では1コールだけがアクティブになることができ、他のコールは自動的に保留になります。

## 回線およびコールのアイコン

電話機には、コールと回線の状態の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線にはコールアクティビティがありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続済みコール	相手側に接続されています。
	コール呼出し中	回線の1つでコールの呼出音が鳴っています。
	保留	コールが保留されています。詳細については、 <a href="#">保留と再開</a> 、(28 ページ) を参照してください。
	リモート使用中	回線を共有している別の電話機にコールが接続されました。詳細については、 <a href="#">共有回線</a> 、(51 ページ) を参照してください。
	コールの復元中	保留コールが電話機に復帰しています。詳細については、 <a href="#">保留と再開</a> 、(28 ページ) を参照してください。
	認証済みコール	詳細については、 <a href="#">セキュアなコール</a> 、(55 ページ) を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	暗号化済みコール	詳細については、 <a href="#">セキュアなコール</a> 、(55 ページ) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線がアイドル状態	詳細については、 <a href="#">ビジー ランプ フィールド機能</a> 、(54 ページ) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線が使用中	詳細については、 <a href="#">ビジー ランプ フィールド機能</a> 、(54 ページ) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	詳細については、 <a href="#">ビジー ランプ フィールド機能</a> 、(54 ページ) を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF 機能)	詳細については、 <a href="#">ビジー ランプ フィールド機能</a> 、(54 ページ) を参照してください。
	インターコム回線はアイドル状態	インターコム回線は使用されていません。詳細については、 <a href="#">インターコム コール</a> 、(43 ページ) を参照してください。
	単方向のインターコム コール	(注) インターコム回線は、単方向で音声を送受信しています。詳細については、 <a href="#">インターコム コール</a> 、(43 ページ) を参照してください。
	双方向のインターコム コール	インターコム発信者との双方向オーディオをアクティブにするには、インターコム回線を押します。詳細については、 <a href="#">インターコム コール</a> 、(43 ページ) を参照してください。

## 電話スクリーンの機能

次に、アクティブ コールが発生しているときのメイン電話スクリーンの図を示します。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブルボタン	電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、スピードダイヤルボタン、電話機サービスボタン、電話機の機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。
3	ソフトキーラベル	対応するソフトキーボタン  のソフトキー機能が表示されます。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	発信者ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。回線とコールの定義、(6 ページ)、および複数のコール、(30 ページ) を参照してください。
6	電話タブ	コールアクティビティを示します。
7	機能タブ	開いている機能メニューを示します。詳細については、機能ボタンとメニューについて、(9 ページ) を参照してください。



(注) 電話機のメッセージ、ディレクトリ、およびサービスの各スクリーンは、電話機がどのように設定されているかに応じて、標準モードで表示されることも、ワイドモードで表示されることもあります。ワイドモードの電話機ウィンドウは、電話スクリーンの幅全体に表示されます。ただし、ユーザも管理者も電話スクリーンの表示モードを調整することはできません。

## 電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンをクリーニングする場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

電話機が省電力モードになっているときは、タッチスクリーンは空白で、ディスプレイ ボタンは点灯しません。電話機がこの状態のときはスクリーンをクリーニングできますが、クリーニングを終了するまで電話機のスリープ状態が続くことがわかっている場合に限りです。クリーニング中に電話機を復帰させる可能性がある場合は、復帰した状態になるのを待ってから、前述のクリーニング手順を実行します。

### 関連トピック

[電力の節約](#), (12 ページ)

## 機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。  メッセージ  サービス  ディレクトリ  設定  ヘルプ
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了]を押します。メニューの最上位レベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。

## 電話機のヘルプシステム

この電話機は、包括的なオンラインヘルプシステムを備えています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	操作
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明</li> <li>• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順</li> <li>• コール機能：コール機能に関する説明や手順</li> <li>• ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント</li> </ul>
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、  のいずれかを押し、機能メニューが表示されます。メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 をすばやく 2 回押します。必要なヘルプ項目を選択します。

## 機能のアベイラビリティ

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できますが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
折返し	折返し	[折返し] 
コール転送	不在	[不在転送] 
コールパーク	パーク	[パーク] 

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コール ピックアップ	ピックアップ	[ピックアップ] ▶
会議	会議	[会議] 
会議参加者リスト	参加者	[会議参加者リスト] ▶
サイレント	サイレント	[サイレント]  または [サイレント] 
コールの終了	終了	[コールの終了] ▶
グループ ピックアップ	G ピック	[グループピックアップ] ▶
保留	保留	[保留] 
ハント グループ	ハント	[ハント グループ]  または [ハント グループ] 
迷惑呼 ID	迷惑呼	[迷惑呼 ID] ▶
ミーティング会議	ミーティング	[ミーティング] ▶
モビリティ	モビリティ	[モビリティ] 
発信	発信	[発信] ▶
他グループ ピックアップ	他グループ	[他グループ ピックアップ] ▶
品質レポート ツール	QRT	[品質レポート ツール] ▶
リダイヤル	リダイヤル	[リダイヤル] ▶
最後の会議参加者の削除	ドロップ	[ドロップ] ▶
転送	転送	[転送] 
ビデオ サポート	ビデオ	[ビデオ] ▶

## SIP および SCCP シグナリング プロトコル

電話機は、SIP（セッション開始プロトコル）と SCCP（Skinny Call Control Protocol）の2つのうち、いずれのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

コール機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものかを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

## 電力の節約

電話機は、Cisco EnergyWise プログラムをサポートしています。節電のための電話機のスリープ（電源オフ）とウェイク（電源オン）の時間はシステム管理者が設定します。

オーディオアラートがシステム管理者によって有効になっている場合は、スケジュールされたスリープ時間の 10 分前に呼出音の再生が聞こえます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの 10 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 7 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 4 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 30 秒前に、呼出音は、15 回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生される

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話機をアクティブな状態のまま保つには、電話機の任意のキーを押します。どのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がオフになることを通知するメッセージが表示されます。

スケジュールされた時間に、電話機の電源はオンになります。スケジュールされた時間よりも前に電話機を復帰させるには、管理者に連絡してください。

ウェイク時間とスリープ時間は、通常勤務する設定済みの日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



## 第 2 章

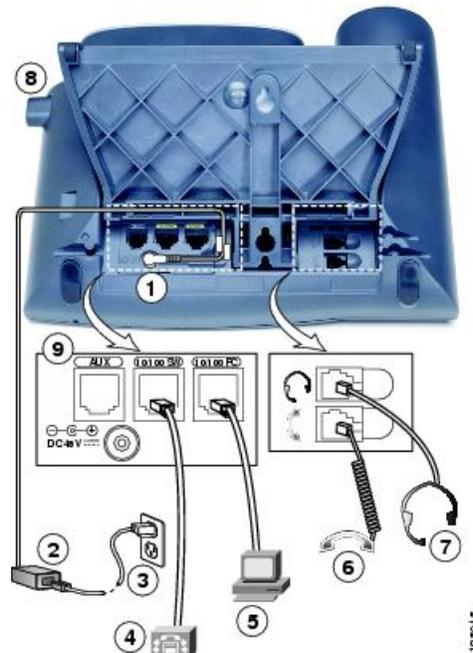
### 電話機の設置

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の項を参照してください。

- [Cisco Unified IP Phone のケーブルの設置, 13 ページ](#)
- [有線およびワイヤレス ヘッドセット, 16 ページ](#)

### Cisco Unified IP Phone のケーブルの設置

次の図および表に、電話機の接続方法を示します。

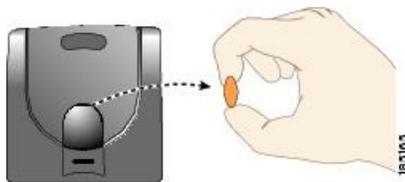


## フックスイッチクリップの取り外し（必須）

1	DC アダプタ ポート	6	ハンドセット ポート
2	AC-DC 電源装置	7	ヘッドセット ポート
3	AC 電源コード	8	フットスタンド ボタン
4	ネットワーク ポート	9	補助ポート
5	アクセス ポート		

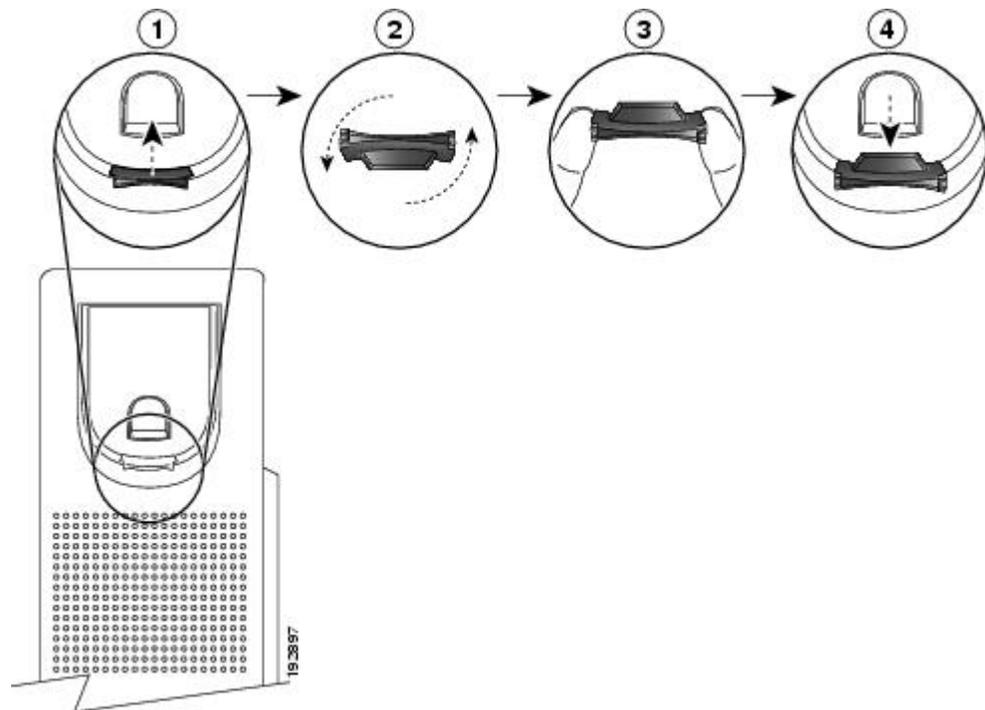
## フックスイッチクリップの取り外し（必須）

電話機には、フックスイッチを固定するクリップが付いている場合があります。その場合は、電話機を使用する前に、受け台からフックスイッチクリップを取り外してください。クリップが取り外されていると、ハンドセットを取り上げたときにフックスイッチがわずかに上がります。



## ハンドセット受け台の調整

電話機が壁に取り付けられている場合は、ハンドセットが受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



### 手順

- 
- ステップ1 ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
  - ステップ2 タブを 180 度回します。
  - ステップ3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
  - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
  - ステップ5 ハンドセットを受け台に戻します。
- 

## フットスタンドの調節

Cisco Unified IP Phone には、調節可能なフットスタンドが付いています。電話機を卓上に置く場合、水平から 60 度まで 7.5 度単位で傾きを調節できます。また、フットスタンドやオプションの壁面取り付け用キットを使用して、電話機を壁に取り付けることもできます。

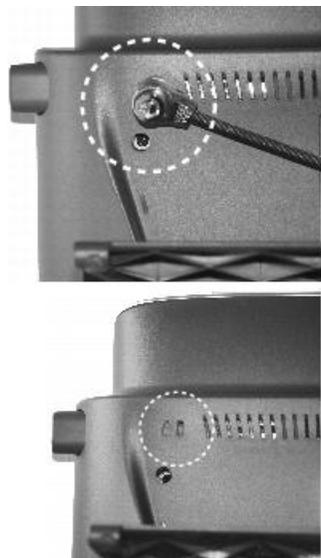
フットスタンドを調節するには、フットスタンドの調整ボタンを押して、傾きを調節します。

## 電話機のケーブルロック

ラップトップケーブルロックを使用して、Cisco Unified IP Phone をデスクトップに固定できます。ロックを電話機の背面にあるセキュリティスロットに接続し、ケーブルを卓上に固定できます。

セキュリティスロットには最大 20 mm のケーブルを挿入できます。互換性のあるラップトップケーブルロックとして Kensington® 製のラップトップケーブルロックの他、電話機の背面にあるセキュリティスロットに適合するその他のメーカー製ラップトップケーブルロックがあります。次の図を参照してください。

図 1: Cisco Unified IP Phone へのケーブルロックの接続



## TAPS 登録

TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、音声プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

## 有線およびワイヤレス ヘッドセット

Cisco Unified IP Phone では、有線ヘッドセットを使用できます。Cisco Unified IP Phone 7962G または 7942G では、ワイヤレスヘッドセットリモートフックスイッチコントロール機能と組み合わせることにより、ワイヤレスヘッドセットを使用できます。

## ヘッドセットのサポート

シスコでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内で若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコでは、不要な無線周波数（RF）および可聴周波数（AF）が遮蔽された、高品質のヘッドセットの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。またハム音が、相手方だけに聞こえる場合もあれば、Cisco IP Phone のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型のPCモニターなど、外部ソースに原因があることがあります。



(注) 場合によっては、ハム音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

このように、Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する可能性があるため、すべての環境に適した単一のヘッドセットは存在しません。ヘッドセットの購入を決定し大規模に展開する前に、それらのヘッドセットについて予想される環境でテストしパフォーマンスを測定することを推奨します。

### 関連トピック

外部デバイス、(xv ページ)

## 音声品質

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコが特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することは不可能です。ただし、主要なヘッドセット製造業者製のさまざまなヘッドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。詳細については、ヘッドセットの製造業者にお問い合わせください。

## ワイヤレスヘッドセットの品揃え（Cisco Unified IP Phone 7962G または 7942G）

ご使用の電話機のワイヤレスヘッドセットリモートフックスイッチコントロール機能と連携するワイヤレスヘッドセットについての詳細は、<http://www.cisco.com/cgi-bin/ctdp/Search.pl> を参照してください。

- 1 [ソリューションの入力]メニューで[IP 通信]を選択します。[ソリューションカテゴリの選択]メニューが表示されます。

- 2 [IP Phone ヘッドセット] を選択して、テクノロジー開発プログラムパートナーのリストを表示します。

特定のテクノロジー開発プログラムパートナーを検索する場合は、[会社名の入力]ボックスにパートナー名を入力してください。



## 第 3 章

# コール機能

---

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の可用性は異なることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

- [基本的なコール操作, 19 ページ](#)
- [その他のコール オプション, 22 ページ](#)
- [コールへの応答, 26 ページ](#)
- [コールの切断, 28 ページ](#)
- [保留と再開, 28 ページ](#)
- [ミュート, 30 ページ](#)
- [複数のコール, 30 ページ](#)
- [進行中のコールの移動, 32 ページ](#)
- [コール転送, 33 ページ](#)
- [ボイス メッセージ システムへのコールの転送, 34 ページ](#)
- [コール転送, 35 ページ](#)
- [サイレント, 37 ページ](#)
- [電話会議, 38 ページ](#)
- [インターコム コール, 43 ページ](#)
- [応用的なコール処理, 45 ページ](#)

## 基本的なコール操作

次の手順では、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか説明します。

## ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[ダイヤル]、、または  を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルすると、これからダイヤルしようとする番号候補として、発信履歴ログに一致する番号があれば、その番号が電話機に表示されます。この機能を自動ダイヤルと呼びます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、[<<] を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話機の [録音] ソフトキーを押すことで、録音を開始または停止できます。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリにプラス (+) 記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 関連トピック

[通話履歴](#)、(75 ページ)

[ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン](#)、(67 ページ)

[保留と再開](#)、(28 ページ)

# コールの発信

## 手順

ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。

# スピーカフォンを使用したコールの発信

## 手順

**ステップ 1**  を押します。

**ステップ 2** 番号を入力します。

## ヘッドセットを使用したコールの発信

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

-  を押して、番号を入力します。
-  が点灯している場合は、[発信] を押し、番号を入力します。

## 番号のリダイヤル

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

- [リダイヤル] を押して、最後の番号をダイヤルします。
- (電話機がアイドルのときに) ナビゲーション ボタンを押して、発信履歴を確認します。

## 別のコールがアクティブなときのコールの発信 (同じ回線を使用)

### 手順

- 
- ステップ1 [保留] を押します。
  - ステップ2 [発信] を押します。
  - ステップ3 番号を入力します。
- 

## 通話履歴からのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1  を選択します。
  - ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴

**ステップ3** リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。

---

## その他のコールオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信できます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

### ヒント

- 回線上でコールを発信する前に、ビジーランプフィールドのインジケータを確認して、スピードダイヤル、コールレコード、またはディレクトリリストに関連する回線がビジーかどうかを確認します。
- Cisco エクステンションモビリティプロファイルを使用してコールを発信するには、電話機で Cisco エクステンションモビリティサービスにログインします。

### 関連トピック

- [ビジーランプフィールド機能, \(54 ページ\)](#)
- [保留と再開, \(28 ページ\)](#)
- [スピードダイヤル, \(45 ページ\)](#)
- [通話履歴, \(75 ページ\)](#)
- [パーソナルディレクトリ, \(82 ページ\)](#)
- [Web でのファストダイヤル, \(93 ページ\)](#)
- [Web でのパーソナルディレクトリ, \(91 ページ\)](#)

## 別のコールがアクティブなときのコールの発信（異なる回線を使用）

### 手順

- 
- ステップ1** 新しい回線の  を押します。最初のコールは、自動的に保留になります。
- ステップ2** 番号を入力します。
-

## Cisco WebDialer を使用したパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからのダイヤル

### 手順

- ステップ 1 Web ブラウザを開き、WebDialer 対応の社内ディレクトリに移動します。
- ステップ 2 ダイヤルする番号をクリックします。

## ビジーまたは呼び出し中の内線が使用可能になったときの通知（折返し）



(注) コールが監察されている場合は、コール観察者は折返しを使用できません。

### 手順

- ステップ 1 ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し]を押します。
- ステップ 2 電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。
- ステップ 3 再びコールを発信します。

## プライオリティ（Precedence）コールの発信

プライオリティ コールは、SCCP 電話機のみでサポートされています。

### 手順

Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。

## 課金またはトラッキングコードを使用したコールの発信

課金コードまたはトラッキングコードは、SCCP 電話機のみでサポートされています。

### 手順

---

- ステップ1 番号をダイヤルします。
  - ステップ2 トーンが鳴ったら、クライアント識別コード (CMC) または強制承認コード (FAC) を入力します。
- 

## モバイル ボイス アクセスを使用した携帯電話からのコールの発信

### 手順

---

- ステップ1 モバイル ボイス アクセス番号および個人識別番号をシステム管理者から入手します。
  - ステップ2 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
  - ステップ3 (必要に応じて) 携帯電話番号および PIN を入力します。
  - ステップ4 1 を押して、社内の IP 電話にコールを発信します。
  - ステップ5 自分以外のデスクトップ電話番号をダイヤルします。
- 

## PAB を使用したコールの発信

この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### 手順

---

- ステップ1 PAB 回線ボタンを押します。
  - ステップ2 連絡先にアクセスし、番号を選択します。指定した番号がダイヤルされます。
-

## スピードダイヤルコールの発信

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

-  (スピードダイヤルボタン) を押します。
- 短縮ダイヤル機能を使用します。
- ファストダイヤル機能を使用します。

## 電話機の社内ディレクトリからのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1**  > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。
- ステップ2** 名前を入力して、[検索] を押します。
- ステップ3** 該当のエントリを選択し、オフフック状態にします。
- 

## 個人アドレス帳 (PAB) のエントリへのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1**  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。
- ステップ2** [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。
- ステップ3** 連絡先までスクロールするか、インデックス番号を押します。  
指定した連絡先がダイヤルされます。
- 

## ファストダイヤルコールの発信

この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

- ステップ1 ファスト ダイヤル回線ボタンを押します。
- ステップ2 エントリを検索して選択するには、インデックス番号までスクロールするか、インデックス番号を押します。  
指定した番号がダイヤルされます。

## コールへの応答

ハンドセットを取り上げて、コールに応答することができます。または、電話機のその他のオプションが利用可能な場合、それらを使用することができます。

目的	操作	詳細の参照先
ヘッドセットで応答する	<p> が点灯していない場合は、押します。 が点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。毎回プライマリ回線を選択するオプションについては、システム管理者にお問い合わせください。</p> <p>ワイヤレスヘッドセットを使用している場合は、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。</p>	<p><a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン、(67 ページ)</a></p>
スピーカフォンで応答する	<p>、[応答]、または  (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。毎回プライマリ回線を選択するオプションについては、システム管理者にお問い合わせください。</p>	<p><a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン、(67 ページ)</a></p>
接続されているコールから新規コールに切り替えて応答する	<p>[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、 (点滅) を押します。</p>	<p><a href="#">保留と再開、(28 ページ)</a></p>

目的	操作	詳細の参照先
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	保留と再開, (28 ページ)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイスメッセージシステムへのコールの転送, (34 ページ)
自動接続コール	自動応答機能を使用します。	ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答, (69 ページ)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパーク、ダイレクトコールパーク、または処理されたダイレクトコールパークを使用します。	コールパーク, (48 ページ)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コールピックアップを使用します。	コールピックアップ, (46 ページ)
プライオリティコールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	プライオリティコール, (58 ページ)
携帯電話またはその他のリモート送信先でコールに応答する	モバイルコネクトを設定して電話に応答します。 モバイルコネクトを有効にして携帯電話でコールに応答するときに、最大 4 台の IP Phone または Softphone を共有回線として設定している場合、他の電話機の点滅が停止します。	詳細については、1つの電話番号を使用したビジネスコール, (62 ページ) を参照してください。

ヒント

- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コールセンターまたは同様の環境で勤務している場合は、事前に録音した独自のグリーティングを作成、更新、および削除できます。このグリーティングは、電話機に対してエージェントグリーティングが設定されている場合に自動的に再生されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コール観察ユーザは、コールが監察されているときは着信コールに応答できません。

## コールの切断

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブのままにするには、[終了] を押します。  Cisco Unified IP Phone 7962G/7942G は、ワイヤレスヘッドセットをサポートしています。ワイヤレスヘッドセットを使用している場合、使用方法についてはワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	[終了] を押します。必要に応じて、まず、コールの保留を解除しておきます。

## 保留と再開

コールを保留および再開できます。コールを保留すると、コール情報領域の右側に保留アイコン  が表示され、該当の回線ボタン  が緑色に点滅します。共有回線では、コールを保留にすると、回線ボタンが緑に点滅し、電話機に保留アイコンが表示されます。別の電話機がコールを保留にすると、回線ボタンが赤に点滅し、電話機にリモート回線の保留アイコンが表示されます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を1回鳴らして警告する。
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する。
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する。
- 点滅するオレンジの回線ボタン （回線の状態によって異なる）を表示する。

### ヒント

- 保留機能をオンにすると通常、音楽（保留音が設定されている場合）またはビープ音が生成されます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は [保留] を使用できません。

## コールの保留

### 手順

- 
- ステップ1** 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。
- ステップ2** [保留] を押します。
- 

## 現在の回線での保留の解除

### 手順

- 
- ステップ1** 該当するコールを強調表示します。
- ステップ2** [復帰] を押します。
- 

## 異なる回線での保留の解除

### 手順

- 
- ステップ1** 該当する回線ボタン  または （点滅）を押します。この操作により、保留コールが自動的に復帰する場合があります。
- 回線に復帰コールが1つある場合、そのコールは保留解除されます。

- 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。
- 非復帰の保留コールが、回線の唯一のコールである場合は、非復帰の保留コールが復帰します。

**ステップ2** 必要に応じて、該当するコールまでスクロールし、[復帰]を押します。

---

## ミュート

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

## コールのミュートまたはミュート解除

### 手順

---

**ステップ1** コールをミュートするには、を押します。

**ステップ2** コールのミュートを解除するには、を押します。

---

## 複数のコール

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーションボタンを使用してそのコールまでスクロールします。

## 別の回線のコールの表示

### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2** すぐに回線ボタン  を押します。
- 

## コールの概要モードへの切り替え

### 手順

- 
- ステップ1** 強調表示された回線の  を押します。  
電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。
- ステップ2** 標準の表示モードに戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。
- 

## 同じ回線で接続されているコール間の切り替え

### 手順

- 
- ステップ1** 切り替えるコールを強調表示します。
- ステップ2** [復帰] を押します。  
アクティブなコールは保留状態になり、選択したコールが復帰します。
-

## 異なる回線で接続されているコール間の切り替え

### 手順

- 
- ステップ 1** 切り替え先の回線で  を押します。  
回線上で保留中のコールが 1 件しかない場合、自動的にそのコールが復帰します。
- ステップ 2** 複数のコールが保留中の場合は、該当のコールを選択して、[復帰] を押します。
- 

## 呼び出し中のコールに応答するための接続コールからの切り替え

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

- [応答] を押します。
- 別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、 (点滅) を押します。

アクティブなコールは保留状態になり、選択したコールが復帰します。

## 進行中のコールの移動

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

## 進行中のコールのデスクの電話機から携帯電話への切り替え

### 手順

- 
- ステップ 1** [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。
- ステップ 2** 進行中のコールに携帯電話で応答します。  
デスクトップの電話回線ボタンが赤  に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
-

## 携帯電話からデスクの電話機への進行中のコールの切り替え

### 手順

- 
- ステップ1** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ2** デスクトップの電話機で4秒以内に[復帰]を押して、デスクトップの電話機で会話を開始します。
- 

## 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機への切り替え（セッションハンドオフ）

### 手順

- 
- ステップ1** 携帯電話でセッションハンドオフ機能のアクセスコード（\*74 など）を入力します。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ2** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ3** 10秒以内にデスクの電話機の[応答]ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。システム管理者は、デスクの電話機のコールに応答するまでの最大秒数を設定します。同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。
- 

## コール転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

### ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または[転送]を押してから切断できます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、[転送]を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [転送]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[復帰]を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

- コールが監察されている場合は、コール観察者は転送を使用できません。
- コールをボイス メッセージ システムにリダイレクトするには、[即転送] を押します。詳細については、[ボイス メッセージ システムへのコールの転送](#)、(34 ページ) を参照してください。

## 転送先の相手と会話しないコール転送

### 手順

- 
- ステップ 1 アクティブなコールで [転送] を押します。
  - ステップ 2 転送先の番号を入力します。
  - ステップ 3 [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。
  - ステップ 4 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、通話を切ると転送が完了します。
- 

## 転送先の相手と会話してからコールの転送（打診転送）

### 手順

- 
- ステップ 1 アクティブなコールで [転送] を押します。
  - ステップ 2 転送先の番号を入力します。
  - ステップ 3 相手が応答するのを待ちます。
  - ステップ 4 [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。
  - ステップ 5 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、通話を切ると転送が完了します。
- 

## ボイス メッセージ システムへのコールの転送

[即転送] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送] を使用して、別の相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

### ヒント

- コールが最初から別の相手の電話機に送信されていた場合は、[即転送] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのいずれ

かにリダイレクトできます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。

- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[即転送]を使用するとコールはその電話機ユーザのボイスメッセージシステムにリダイレクトされます。
- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送]をもう一度押すと、メニューが再表示されます。タイムアウト値の延長について、システム管理者に問い合わせることもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。

## アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールのボイスメッセージシステムへの送信

### 手順

- 
- ステップ 1** [即転送]を押します。  
使用できるリダイレクト オプションがない場合は、コールはご使用のボイスメッセージシステムに転送されます。
- ステップ 2** 使用できるリダイレクト オプションがある場合は、ご使用の電話機に新しいメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。
- 

## コール転送

コール転送を使用して、着信コールを別の番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には、電話機または Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページからアクセスできます。条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからでないとアクセスできません。以下のコール転送機能のうち、どの機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

## ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや市外局番を入力します。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスでコール転送機能が無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。
- プライマリ回線で不在転送が有効かどうかを確認するには、次の点を確認します。
  - プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。
  - ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。

## コール転送の設定またはキャンセル

プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 コール転送の設定にアクセスします。
-

## 電話機からの不在転送の設定およびキャンセル

### 手順

- 
- ステップ1** 不在転送を設定するには、[不在] または [不在転送] を押して、目的の電話番号を入力します。
- ステップ2** 不在転送をキャンセルするには、[不在] または [不在転送] を押します。
- 

## サイレント

サイレント（DND）を使用すると、着信したコールの音声および表示による通知がオフになります。電話機のサイレントの設定は、システム管理者が行います。

電話機でサイレントとコール転送の両方が有効になっている場合、コールは即座に転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールのみが自動応答されます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified Phone に切り替えた場合（セッションハンドオフ）は、電話機のサイレント機能は無効になります。サイレント機能は、コールが終了すると復帰します。

## DND のオンおよびオフの切り替え

### 手順

- 
- ステップ1** サイレントをオンにするには、[サイレント] を押します。  
電話機に「サイレント」と表示され、サイレントライト （点灯）が点灯し、呼出音がオフになります。
- ステップ2** 再度サイレントをオフにするには、[サイレント] を押します。
-

## サイレント設定のセットアップ

サイレントの設定値がユーザオプションページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューから [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3** 次のオプションを設定できます。
- [サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。
  - [DND オプション]: [コール拒否] (音声および表示によるすべての通知をオフにする) または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。
  - [DND 着信呼警告] (設定された DND オプションに適用される) : アラートをビーブ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし] を選択します (システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます)。
- 

## 電話会議

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議 : 参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[会議] ソフトキーまたは会議 ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加 : 既存の複数のコールを結合することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。[参加] ソフトキーまたはボタンを使用します。
- C 割込 : 共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。回線ボタンを押すか、[C 割込] ソフトキーまたはボタンを使用します。C 割り込み機能を使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- ミートミー : 会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー] ソフトキーまたはボタンを使用します。

## アドホック会議

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

### 参加者へのコールの発信による会議の開催

#### 手順

- 
- ステップ 1** 接続コールで、[会議] または [会議] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します。
  - ステップ 2** 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ 3** コールが接続されるまで待ちます。
  - ステップ 4** [会議] または [会議] を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。
  - ステップ 5** この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
- 

### 会議への新しい参加者の追加

会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。

#### 手順

- 
- ステップ 1** 接続コールで、[会議] または [会議] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します。
  - ステップ 2** 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ 3** コールが接続されるまで待ちます。
  - ステップ 4** [会議] または [会議] を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。
  - ステップ 5** この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
- 

## 会議への参加

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

## ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するため、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が [会議] に変わります。
- [参加] ソフトキーまたは [D 転送] ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合できる場合があります。この機能が使用可能かどうか、システム管理者に確認してください。
- コール観察ユーザは最初の発信者とのみ会議できます。2人目以降の発信者は、会議の他の参加者と会議を行うことができます。

## 単一電話回線の既存コールの結合

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブなコールから会議に含める別のコールを選択し、[選択] を押します。選択したコールにアイコン  が表示されます。
- ステップ 2** 追加するコールごとにこのステップを繰り返します。
- ステップ 3** [参加] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します。
- 

## 複数の電話回線の既存コールの結合

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブなコールから [参加] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します。
- ステップ 2** 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。  
(注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、[参加] を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。
- ステップ 3** 電話スクリーンに結合する複数のコールを選択するよう求めるウィンドウが表示される場合は、コールを強調表示し、[選択] を押してから、[参加] を押して操作を完了します。コールが参加状態になります。
-

## 会議への割り込み

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。詳細については、[割り込み、C 割り込み、および共有回線のコール](#)、(52 ページ) および [会議の参加者リスト](#)、(42 ページ) を参照してください。

### 共有回線へのコールの割り込みによる会議の開催

#### 手順

- 
- ステップ1 共有回線の回線ボタンを押します。
  - ステップ2 操作を完了するために、コールを選択して [C 割込] を押す必要がある場合があります。
- 

## ミーティング

ミーティングでは、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

#### ヒント

- 安全でない電話機から安全なミーティングの番号にコールした場合は、ご使用の電話機に、「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[セキュアなコール](#)、(55 ページ) を参照してください。
- すべての参加者が電話を切ると、ミーティングは終了します。
- 会議の開催者が切断しても、電話会議は、すべての参加者が電話を切るまで続行されます。

### ミーティングの開催

参加者は、開催者が会議を開始するまで、会議に参加できません。

#### 手順

- 
- ステップ1 システム管理者からミーティング電話番号を取得します。
  - ステップ2 その電話番号を参加者に配布します。
  - ステップ3 会議を開始する準備ができたなら、オフフック状態にして、ダイヤルトーンを聞いてから、[ミーティング] を押します。
  - ステップ4 ミーティング会議番号をダイヤルします。  
これで、会議の参加者は、ミーティング番号をダイヤルして会議に参加できます。

---

## ミーティング会議への参加

### 手順

---

- ステップ1 会議の開催者から配布された、ミーティング会議番号をダイヤルします。
  - ステップ2 ビジートーンが聞こえる場合は、会議の開催者がまだ会議に参加していません。しばらく待ってから再度コールします。
- 

## 会議の参加者リスト

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

### 参加者リストを使用した会議の制御

会議の参加者リスト（[参加者]）には、最大16人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者]には16人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者]には最新の16人の参加者のみ表示されます。

### 手順

---

- ステップ1 [参加者] または [会議参加者リスト] を押します。  
会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
  - ステップ2 会議の参加者リストを更新するには、[更新] を押します。
  - ステップ3 会議の開催者を確認するには、リストの末尾までスクロールして、名前横にアスタリスク（\*）の付いた参加者を見つけます。
  - ステップ4 会議の参加者を削除するには、参加者の名前を強調表示して、[削除] を押します。
  - ステップ5 最後に会議に参加した参加者をドロップするには、[ドロップ] または [最終参加者の削除] を押します。  
参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
-

## 電話会議のセキュリティの確認

### 手順

- 
- ステップ 1** 会議のセキュリティを確認するには、[参加者] または [会議参加者リスト] を押します。
- ステップ 2** 会議コールが安全であることを確認するには、電話スクリーンの [会議] の横に  または  アイコンがあることを確認します。
- ステップ 3** 参加者が安全な電話機からコールしていることを確認するには、電話スクリーンに表示された参加者の名前の横に  または  アイコンがあることを確認します。
- 

## インターコム コール

ミュートをアクティブにしたスピーカフォンモードで、コールに自動応答する通話先の電話機に対して、インターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。ハンドセットまたはヘッドセットのいずれかが使用中の場合は、音声はいずれか一方で再生されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコールアクティビティは同時に継続されます。

インターコムのアラート音が聞こえたら、次のオプションのいずれかを選択します。

- マイクフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了] を押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- アクティブなコールがモニタまたは記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できます。
- インターコム コールは保留にできません。



- (注) Cisco エクステンションモビリティプロファイルを使用して日常的に同じ電話機にログインする場合は、システム管理者がそのプロファイルにインターコム情報を含む電話ボタンテンプレート割り当てを確認し、電話機をインターコム回線のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当ててください。

## 事前定義されたインターコム番号へのインターコム コールの発信

### 手順

- ステップ 1  (インターコム ターゲット回線) を押します。
- ステップ 2 インターコムのアラート音が聞こえたら、話を始めます。

## 任意のインターコム番号へのインターコム コールの発信

### 手順

- ステップ 1  (☎) を押します。
- ステップ 2 インターコムの相手先の番号を入力するか、スピードダイヤル番号を押します。
- ステップ 3 インターコムのアラート音が聞こえたら、話を始めます。

## インターコム コールの受信

### 手順

インターコムのアラート音が聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。

- 単方向通話でメッセージを聴きます。
-  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。
- インターコム コールにフォーカスがある状態で [終了] を押します。

## 応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

### スピードダイヤル

スピードダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

スピードダイヤル ボタンおよび短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。ファストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。または、システム管理者が、スピードダイヤル機能を設定できます。

#### 関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(89 ページ\)](#)
- [パーソナルディレクトリ, \(82 ページ\)](#)
- [Web でのスピードダイヤルの設定, \(96 ページ\)](#)
- [ビジューランプフィールド機能, \(54 ページ\)](#)
- [Web でのパーソナルディレクトリ, \(91 ページ\)](#)

### スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機がビジューランプフィールド (BLF) スピードダイヤル機能をサポートする場合は、スピードダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** スピードダイヤル ボタンを設定します。
  - ステップ 2** コールを発信するには、 (スピードダイヤル ボタン) を押します。
-

## オンフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 短縮ダイヤル コードを設定します。
  - ステップ2 コールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
- 

## ファスト ダイヤルを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 個人アドレス帳エントリを作成し、ファスト ダイヤル コードを割り当てます。
  - ステップ2 コールを発信するには、電話機からファストダイヤル サービスにアクセスします。
- 

## コール ピックアップ

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

### ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- [G ピック] または [グループ ピックアップ] を押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします（回線が使用可能な場合）。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのボタンまたはソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示（あるいはその両方）によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、[ビジーランプフィールド機能](#)、(54 ページ) を参照してください。

## コール ピックアップ グループ内の別の内線で呼出音が鳴っているコールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [ピック] ソフトキーを押します。 ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
- 

## コール ピックアップ グループ外の別の内線の呼び出し中コールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーまたは グループ ピックアップ ボタンを押します。 ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。
- ステップ 2** グループ ピックアップ 番号を入力します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
- 

## グループまたは関連グループ内の別の内線での呼び出し中コールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [他グループ] ソフトキーまたは 他グループ ピックアップ ボタンを使用します。 ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

## 特定の内線（回線番号）で呼び出し中のコールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーまたは グループ ピックアップ ボタンを押します。 ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。
- ステップ 2** ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
- 

## コールパーク

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

コールは、次の方法でパークします。

- コールパーク：[パーク] ソフトキーを使用して、コールを保存します。コールに割り当てられたコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク：コール中に [転送] ソフトキーを押します。コールを保存するには、ダイレクトコールパーク番号をダイヤルし、[転送] をもう一度押します。
- 処理されたダイレクトコールパーク：アイドル状態の回線ステータスインジケータを表示する、処理されたダイレクトコールパーク ボタンを使用します。ネットワークの他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得するには、点滅している処理されたダイレクトコールパーク  ボタンを押します。

### ヒント

- パークされたコールの取得には制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、Cisco Unified IP Phone または Cisco Unified IP Phone Expansion Module（電話機で使用可能であり、サポートされている場合）で使用可能な回線ボタンにダイレクトコールパーク ボタンを割り当てることができます。
- ダイレクトコールパーク ボタンがない場合でも、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクトコールパーク番号のステータスは表示できません。

## コールパークを使用したアクティブ コールの保存および受け取り

### 手順

- 
- ステップ 1** コール中に [パーク] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を表示します。
  - ステップ 2** 電話スクリーンに表示されたコールのパーク番号を記録します。
  - ステップ 3** 電話を切ります。
  - ステップ 4** パークされたコールをピックアップするには、ネットワーク上の任意の Cisco Unified IP Phone からコールパーク番号を入力します。
- 

## アクティブなコールのダイレクトコールパーク番号への転送および保存

### 手順

- 
- ステップ 1** コール中に、 を押します。
  - ステップ 2** ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。
  - ステップ 3** もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。
- 

## アクティブなコールの処理されたダイレクトコールパーク番号への転送、保存、取得

### 手順

- 
- ステップ 1** コール中に、アイドル状態の回線ステータス インジケータ  が表示された 処理されたダイレクトコールパーク ボタンを押します。
  - ステップ 2** コールを取得するには、点滅している処理されたダイレクトコールパーク  ボタンを押します。管理者が復帰電話番号を設定していない場合、パークされたコールは、そのコールをパーク中の電話機に復帰します。
-

## パークされたコールのダイレクトコールパーク番号からの取得

### 手順

- 
- ステップ1** ネットワークの任意の Cisco Unified IP Phone から、パーク取得プレフィックスを入力します。
- ステップ2** 次のいずれかの操作を実行します。
- ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。
  -  (点滅)  を押して、コールに接続します。
- 

## ダイレクトコールパーク番号からのパークされたコールの取得

### 手順

ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルします。

## ハントグループ

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハントグループのメンバーになっている可能性があります。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハントグループからログアウトすることによって、ハントグループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

### ヒント

- ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。
- ログインすると、ハントグループボタン  が点灯します。

## ハントグループのログインおよびログアウト

### 手順

- 
- ステップ 1** ハントグループにログインするには、[ハント]または[ハントグループ]を押します。これで、ハントグループにログインしました。
- ステップ 2** ハントグループからログアウトするには、[ハント]または[ハントグループ]を押します。電話スクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
- 

## 共有回線

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

## リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコンは、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

## コール情報と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者IDや通話時間などが含まれます。例外については、[プライバシー](#)、[\(51 ページ\)](#)の項を参照してください。

コールに関する情報がこのように表示されているときは、[割り込み]または[C 割り込]を使用して、回線を共有する同僚とともに、コールに参加できます。詳細については、[割り込み](#)、[C 割り込み](#)、および[共有回線のコール](#)、[\(52 ページ\)](#)を参照してください。

## プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。詳細については、[プライバシーおよび共有回線](#)、[\(53 ページ\)](#)を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

## 割り込み、C 割り込み、および共有回線のコール

割り込み機能 ([C 割込] または [割込み]) を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます (プライベートコール以外のコールである必要があります。詳細については、[共有回線](#), (51 ページ) を参照してください)。

電話機の設定によっては、[C 割込] または [割込み] を使用して、共有回線のプライベート以外のコールに自分自身を追加できます。

- [C 割込] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます。標準の会議の詳細については、[電話会議](#), (38 ページ) を参照してください。
- [割込み] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

### ワンボタンまたはマルチタッチ割り込み

電話機の割り込み機能がワンボタン機能またはマルチタッチ機能のどちらとして動作するかは、システム管理者が決定します。

- ワンボタン割り込みでは、回線ボタンを押してコールに割り込むことができます (回線にコールが 1 つしかない場合)。
- マルチタッチ割り込みでは、コール情報を表示した後で割り込むことができます。

### 割り込み機能

次の表に、割り込み機能 ([C 割込] または [割込み]) を使用して共有回線のコールに自分自身を追加する方法を示します。

目的	操作
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  の横にある、リモートで使用中のアイコン  を確認します。

目的	操作
共有回線のコールに参加する	<p>共有回線の赤い回線ボタン  を押します。</p> <p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールに追加されます。</li> <li>• 割り込み先のコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、[割り込み] または [C 割り込] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] または [C 割り込] を表示します。</li> </ul>

ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるビープ音が鳴ることがあります。[C 割り込] を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が無効で、Private Line Automated Ringdown (PLAR) で設定されている場合でも、割り込みと C 割り込み機能は使用できます。
- [割り込み] を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

[会議の参加者リスト, \(42 ページ\)](#)

## プライバシーおよび共有回線

電話回線を共有している場合、プライバシー機能を使用すると、この回線を共有している他者が自分のコールを表示したりコールに割り込んだり（自分自身を追加）しないようにできます。

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

### 他者による共有回線のコールの表示およびコールへの割り込みの許可

#### 手順

- 
- ステップ 1** 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりしないようにするには、次の操作を実行します。
- a) [非通知]  を押します。
  - b) プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が有効のアイコン  を確認します。
- ステップ 2** 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可するには、次の操作を実行します。
- a) [非通知]  を押します。
  - b) プライバシー機能がオフであることを確認するには、点灯していない回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が無効のアイコン  を確認します。
- 

## ビジョランプフィールド機能

ビジョランプフィールド (BLF) 機能を使用すると、電話機のスピードダイヤルボタン、通話履歴、またはディレクトリリストに関連付けられた電話回線の状態を確認できます。BLFピックアップを使用すると、モニタ対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どのBLF機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

目的	操作
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 回線は使用中です。</li> <li> 回線はアイドル状態です。</li> <li> 回線はサイレント状態です。</li> <li> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</li> </ul>

目的	操作
スピードダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <p> +  : 回線は使用中です。</p> <p> +  : 回線はアイドルです。</p> <p> +  : 回線はサイレント状態です。</p> <p> +  (点滅) : 回線は呼び出し中です (BLF ピックアップのみ)。</p> <p> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</p>

ヒント

- モニタ対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオインジケータを再生して通知できる場合があります (BLF ピックアップのみ)。
- BLF ピックアップは、モニタリング対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します。

## BLF ピックアップを使用した呼び出し中のコールへの応答

手順

- 
- ステップ 1** 回線の呼び出し中に BLF ピックアップ ボタン  を押します。電話機で使用可能な次の回線にコールがリダイレクトされます。
  - ステップ 2** 回線を指定する場合は、先に回線ボタンを押してから、BLF ボタンを押します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。
  - ステップ 3** ご使用の電話機でコールの呼び出し音が鳴ったら、応答します。
- 

## セキュアなコール

システム管理者が電話機システムをどのように設定するかによって異なりますが、電話機ではセキュアなコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- 認証済みコール：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。

- 暗号化済みコール：電話機では、Cisco Unified Communications Manager ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールです。
- 保護されたコール：電話機は、Cisco Unified Communications Manager サーバ上でセキュアな（暗号化され信頼された）デバイスであり、Cisco Unified Communications Manager Administration で「保護されたデバイス」として設定されています。

Cisco Unified Communications Manager Administration で [セキュア通知トーンの再生] が有効 ([はい]) になっている場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュアまたは非セキュア通知トーンが再生されます。

- エンドツーエンドのセキュアメディアがセキュアリアルタイム転送プロトコル (SRTP) によって確立され、コールステータスがセキュアである場合、セキュア通知トーン（短い間隔で3回の長いビープ音）が再生されます。
- エンドツーエンドの非セキュアメディアがリアルタイムプロトコル (RTP) によって確立され、コールステータスが非セキュアである場合、非セキュア通知トーン（短い間隔で6回の短いビープ音）が再生されます。

[セキュア通知トーンの再生] オプションが無効 ([いいえ]) になっている場合、トーンは再生されません。

- 保護されないコール：電話機のステータスは、Cisco Unified Communications Manager で「保護されたデバイス」ではありません。セキュアまたは非セキュア通知トーンは再生されません。
- 非セキュアなコール：電話機は Cisco Unified Communications Manager サーバ上で保護されず、コールステータスは非セキュアになります。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作
コールまたは会議のセキュリティレベルを確認する	コールアクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティアイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li> 認証済みコールまたは会議</li> <li> 暗号化済みコールまたは会議</li> <li> 非セキュアなコールまたは会議</li> </ul>

目的	操作
電話接続（コール ステータス）がセキュアであることを確認する	<p>コールの開始時にセキュア通知トーンの音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュアなコール ステータス：電話機が保護されており、[セキュア通知トーンの再生] が有効で、コール ステータスがセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュア通知トーン（短い間隔で3回の長いビープ音）が再生されます。また、コールが安全であることを示すロックアイコンが表示されます。</li> <li>• 非セキュアなコール ステータス：電話機が保護されており、[セキュア通知トーンの再生] が有効で、コール ステータスが非セキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時に非セキュア通知トーン（短い間隔で6回の短いビープ音）が再生されます。また、コールが安全でないことを示す再生矢印アイコンが表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
社内でセキュアなコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



(注) コールに使用されているデバイスが信頼済みかどうかは、シスコが決定します。コールが安全な場合でも、信頼できないデバイスから発着信したコールのとき、[Cisco Unified IP Phone] 画面に鍵アイコンまたはシールドアイコンは表示されません。

## VPN クライアント

仮想プライベート ネットワーク (VPN) 機能は、必要に応じてシステム管理者が設定します。VPN クライアント機能が有効になっており、電話機で VPN クライアントモードが有効の場合、次のような資格情報に関する指示が表示されます。

- 電話機が企業ネットワークの外部にある場合：ログイン時に、システム管理者が電話機に設定した認証方式に基づいて、資格情報を入力するように求められます。
- 電話機が企業ネットワークの内部にある場合：

- 自動ネットワーク検出が無効の場合、資格情報が求められ、VPN 接続が可能です。
- 自動ネットワーク検出が有効の場合、VPN 経由で接続できないため、資格情報の入力を求められることはありません。

VPN の設定にアクセスするには、設定ボタンを押し、[セキュリティ設定]>[VPN の設定] を選択します。

電話機が起動し、VPN ログイン画面が表示されたら、設定された認証方式に基づいて、資格情報を入力します。

- [ユーザ名とパスワード]：システム管理者から入手したユーザ名およびパスワードを入力します。
- [パスワードと証明書]：パスワードを入力します。ユーザ名は証明書から得られます。
- [証明書]：電話機が認証のために証明書だけを使用する場合、認証データを入力する必要はありません。VPN ログイン画面には、VPN 接続を試行している電話機のステータスが表示されます。

パスワードを要求する認証方式では、[<<] ソフトキーを使用して 1 文字戻り、パスワードを修正します。

特定の状況下で電源が失われたり、リセットされたりすると、保存されている資格情報がクリアされます。

VPN 接続を確立するには、[送信] ソフトキーを押します。

VPN ログイン プロセスを無効にするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

## 不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に迷惑呼 ID（MCID）機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

### 不審なコールまたは嫌がらせのコール受信のシステム管理者への通知

#### 手順

[迷惑呼] または [迷惑呼 ID] を押します。

電話機でトーンが再生され、「迷惑呼 ID の処理完了」というメッセージが表示されます。管理者が適切な処理を行うことができるように、補足情報が記載された通知が管理者に送信されます。

### プライオリティ コール

この機能は、SCCP 電話機のみにも適用されます。

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への **Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- **Precedence** : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- **Preemption** : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの <b>Precedence</b> 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された <b>MLPP</b> アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティ レベルは、電話スクリーン上の <b>MLPP</b> アイコンによって示されます。
コールのプライオリティ レベルを表示する	電話スクリーン上の <b>MLPP</b> アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プライオリティ コール</li> <li>■ 中程度のプライオリティの (即時) コール</li> <li>■ プライオリティの高い (フラッシュ) コール</li> <li>■ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール</li> </ul> より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。 <b>MLPP</b> アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりにコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブなコールを終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

## ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声案内によってエラーが警告されます。
- 次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。
  - コールを保留にする
  - コールを転送する
  - コールを 3 者会議に追加する
  - [ピック] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント (DND) 機能が無効になります。

## Cisco エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。システム管理者は、EM を設定する必要があります。

Extension Mobility Change PIN 機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できます。

## ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

## EM へのログイン

### 手順

- 
- ステップ 1  > [EM サービス] を選択します (名前は異なる場合があります)。
  - ステップ 2 システム管理者から提供されたユーザ ID と PIN を入力します。
  - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
- 

## EM からのログアウト

### 手順

- 
- ステップ 1  > [EM サービス] を選択します (名前は異なる場合があります)。
  - ステップ 2 ログアウトの指示があったら、[はい] を押します。
- 

## [クレデンシャルの変更] サービスを使用した PIN の変更

### 手順

- 
- ステップ 1  > [クレデンシャルの変更] を選択します。
  - ステップ 2 [ユーザ ID] フィールドにユーザ ID を入力します。
  - ステップ 3 [現在の PIN] フィールドに PIN を入力します。
  - ステップ 4 [新しい PIN] フィールドに新しい PIN を入力します。
  - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
  - ステップ 6 [変更] を押します。PIN の変更が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。
  - ステップ 7 [終了] を押します。
-

## [PIN の変更] ソフトキーを使用した PIN の変更

### 手順

- 
- ステップ 1  > [EM サービス] を選択します。
  - ステップ 2 [PIN の変更] を押します。
  - ステップ 3 [現在の PIN] フィールドに PIN を入力します。
  - ステップ 4 [新しい PIN] フィールドに新しい PIN を入力します。
  - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
  - ステップ 6 [変更] を押します。 PIN の変更が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。
  - ステップ 7 [終了] を押します。
- 

## 1つの電話番号を使用したビジネス コール

Intelligent Session Control は、携帯電話番号をビジネス IP 電話番号に関連付けます。リモート接続先（携帯電話）へのコールを着信すると、デスクの電話機の呼出音は鳴りません。リモート接続先のみが鳴ります。携帯電話で着信コールに応答すると、デスクの電話機には「リモートで使用中」メッセージが表示されます。

通話中には、任意の携帯電話機能も使用できます。たとえば、携帯番号へのコールを着信した場合、デスクの電話機からコールに応答したり、コールを携帯電話からデスクの電話機にハンドオフしたりできます。

次の表示、コールの転送方法について説明します。

目的	操作
着信のモバイルアクティブコールをデスクの電話機に転送する	携帯電話のさまざまな機能を使用します (*74 など)。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

## モバイル コネクトおよびモバイル ボイス アクセス

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておくで、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

モバイル コネクトを有効にすると、デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。

デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

1つのリモート接続先でコールに回答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

目的	操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザオプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセスリストを作成します。詳細については、 <a href="#">モバイルコネクト用、電話機およびアクセスリストの設定</a> 、(102 ページ) を参照してください。
携帯電話でコールに回答する	詳細については、 <a href="#">コールへの応答</a> 、(26 ページ) を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	詳細については、 <a href="#">進行中のコールの移動</a> 、(32 ページ) を参照してください。
携帯電話からコールを発信する	詳細については、 <a href="#">その他のコール オプション</a> 、(22 ページ) を参照してください。

### ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイルボイスアクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
  - 発信している番号がリモート接続先の番号の 1 つでない場合。
  - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
  - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイルボイスアクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。サポートが必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。

### 関連トピック

[進行中のコールの移動](#)、(32 ページ)

## 携帯電話で応答したコールの保留

### 手順

- 
- ステップ 1** [エンタープライズ保留] を押します（名前は異なる場合があります）。  
通話相手は保留状態になります。
- ステップ 2** 携帯電話で、[復帰]（名前は異なる場合があります）を押します。
- 

## モバイル ボイス アクセスへの接続

### 手順

- 
- ステップ 1** 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
- ステップ 2** 発信番号（要求された場合）と PIN を入力します。
- 

## 携帯電話からのモバイル コネクトの有効化

### 手順

- 
- ステップ 1** 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
- ステップ 2** （必要に応じて）携帯電話番号および PIN を入力します。
- ステップ 3** 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。
- ステップ 4** モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。
- すべての電話機の場合：2 を押します。
  - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けてシャープ (#) を押します。
-

## 携帯電話からのモバイル コネクトの無効化

### 手順

- 
- ステップ 1** 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
- ステップ 2** (必要に応じて) 携帯電話番号および PIN を入力します。
- ステップ 3** 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。
- ステップ 4** モバイル コネクト無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。
- すべての電話機の場合 : 2 を押します。
  - 1 台の電話機の場合 : 1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けてシャープ (#) を押します。
- 

## すべてのリモート接続先へのモバイル コネクトアクセスのデスクトップ電話機での有効化または無効化

### 手順

- 
- ステップ 1** [モビリティ] を押して、リモート接続先の現在のステータス (有効または無効) を表示します。
- ステップ 2** [選択] を押して、ステータスを変更します。
- ステップ 3** [終了] を押します。
-





## 第 4 章

# ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン

電話機と一緒に使用できるオーディオデバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。

ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオデバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。

ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオデバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。

- [ハンドセット, 67 ページ](#)
- [ヘッドセット, 68 ページ](#)
- [スピーカフォン, 69 ページ](#)
- [ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答, 69 ページ](#)

## ハンドセット

次の表で、ハンドセットの使用方法について説明します。

目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。
コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。

目的	操作
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>

## ヘッドセット

電話機では、有線ヘッドセット用に4線または6線のヘッドセットジャックがサポートされています。Cisco Unified IP Phone 7962G/7942Gはワイヤレスヘッドセットもサポートしています。ヘッドセットの購入については、[有線およびワイヤレスヘッドセット](#)、(16ページ)を参照してください。

ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。

ただし、ワイヤレスヘッドセットを使用している場合は、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。

目的	操作
ヘッドセットモードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げる。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>

自動応答を使用する場合は、[ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答](#)、(69ページ)を参照してください。

システム管理者は、ユーザ（ヘッドセットを使用）とスーパーバイザ（電話機のハンドセットを使用）、およびの接続先との会話を録音するように電話機を設定できます。

## ワイヤレスヘッドセット

Cisco Unified IP Phone 7962G/7942Gはワイヤレスヘッドセットをサポートしています。ワイヤレスヘッドセットのリモート機能の使用方法については、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。また、ワイヤレスヘッドセットリモートフックスイッチコントロール機能

と組み合わせてワイヤレスヘッドセットを使用することがお使いの電話機で可能かどうかをシステム管理者に確認してください。

## ワイドバンドヘッドセット

ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。

[ワイドバンドヘッドセット]設定がグレー表示になっている場合は、この設定は制御できません。

システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられないことがあります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

## スピーカフォン

ハンドセットが受け台にあり、 が点灯していない場合、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォンモードが自動的に切り替わります。

目的	操作
スピーカフォンモードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げる。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。

## ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答

自動応答機能が有効な場合、呼出音が数回鳴った後、電話機が自動的に応答します。自動応答機能でスピーカフォンとヘッドセットのどちらを使用するかは、システム管理者が設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	操作
<p>ヘッドセットで自動応答を使用する</p>	<p>通話中以外も、ヘッドセットモードを有効（つまり、が点灯している状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセットをよりアクティブな状態に保つには、次の操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [終了] を押して切断します。</li> <li>• [発信] または [ダイヤル] を押して、新規コールを発信します。</li> </ul> <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されていると、が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
<p>スピーカフォンで自動応答を使用する</p>	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを無効（が消灯している状態）にしておきます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

ヒント

サイレント機能がアクティブな場合、自動応答機能は無効になります。



## 第 5 章

# 電話機のカスタマイズ

---

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone の個人設定を行うことができます。

- [呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ, 71 ページ](#)
- [電話スクリーンのカスタマイズ, 73 ページ](#)

## 呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ

電話機で着信コールと新しいボイスメールメッセージがどのように示されるかをカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調整できます。

### ヒント

最大 6 種類の呼出音が鳴るように電話機をカスタマイズできます。また、デフォルトの呼出音を設定することもできます。

### 関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(89 ページ\)](#)
- [Web での回線設定, \(101 ページ\)](#)

## 回線ごとの呼出音の変更

### 手順

- 
- ステップ1  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。
  - ステップ2 電話回線またはデフォルト呼出音設定を選択します。
  - ステップ3 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。
  - ステップ4 [選択] および [保存] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル] を押します。
- 

## 電話機の音量レベルの調整

呼出音の最低音量が設定されているかどうかをシステム管理者に確認してください。

### 手順

ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフオンのボタンがオフになっている状態で、 を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

## 呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ビープ音のみ）の変更

ユーザがこの設定にアクセスするには、システム管理者がこのアクセスをユーザに対して有効にしておくことが必要な場合があります。

### 手順

- 
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ2 呼出音のパターン設定にアクセスします。
-

## オーディオ ボイス メッセージ インジケータの変更

### 手順

- 
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ2 メッセージ インジケータの設定にアクセスします。
- 

## ハンドセットのボイス メッセージ ランプの動作の変更

### 手順

- 
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ2 [メッセージ受信ランプ ポリシーの変更] を選択します。
  - ステップ3 メッセージインジケータの設定にアクセスします。通常、デフォルトのシステムポリシーでは、ハンドセットのライトストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。
- 

## 電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

### 関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(89 ページ\)](#)
- [Web でのユーザ設定, \(99 ページ\)](#)

## 電話スクリーンのコントラストの変更

### 手順

- 
- ステップ1  > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。
  - ステップ2 調整するには、[アップ]、[ダウン] または  を押します。
  - ステップ3 [保存] または [キャンセル] を押します。

- (注) 非常に明るいか、または非常に暗いコントラストを間違っ保存し、電話スクリーンの表示が見えなくなった場合は、[トラブルシューティング](#)、(113 ページ) を参照してください。

## 背景画像の変更

### 手順

- ステップ 1**  > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。
- ステップ 2** スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択] を押して画像を選択します。  
(注) 画像が表示されない場合、このオプションはご使用の電話機では無効になっています。
- ステップ 3** [プレビュー] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。
- ステップ 4** [終了] を押して、選択メニューに戻ります。
- ステップ 5** [保存] を押して画像を受け入れるか、または [キャンセル] を押します。

## 電話スクリーンの言語の変更

### 手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** ユーザ設定にアクセスします。
- ステップ 3** 言語を選択します。

## 回線テキスト ラベルの変更

### 手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** 回線テキスト ラベルの設定にアクセスします。



## 第 6 章

# 通話履歴とディレクトリ

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。どちらの機能にアクセスする場合もディレクトリ ボタン  を使用します。

- [通話履歴, 75 ページ](#)
- [ディレクトリ機能, 80 ページ](#)

## 通話履歴

電話機には、不在コール、発信コール、および着信コールを記録したコール履歴が保持されます。電話機に表示される特定の回線の不在コール ディレクトリに、不在コールを記録するかどうかは、システム管理者が決定します。

### ヒント

- (SCCP 電話機/SIP 電話機) お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリにプラス (+) 記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- (SCCP 電話機だけ) マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細]を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに2つのエントリが、名前と番号とともに表示されます。
  - 最初のエントリ : 直近に完了したマルチパーティ コール
  - 2 番目のエントリ : 最初に完了したマルチパーティ コール
- 特定の回線でコールを発信する前に、通話履歴でその回線がビジーかどうかを確認するには、ビジー ランプ フィールド インジケータを確認します。

## 通話履歴の表示

### 手順

---

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

各履歴には、最大 100 件のレコードが保存されています。

---

## 1 つのコールレコードの詳細表示

### 手順

---

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

ステップ4 発信履歴と着信履歴の場合のみ、[詳細] を押して着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報を表示します。

---

## すべての履歴からすべてのコールレコードの消去

### 手順

- 
- ステップ1  を押します。
- ステップ2 [クリア] を押します。
- 

## 1つの履歴からすべてのコールレコードの消去

### 手順

- 
- ステップ1  を押します。
- ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴
- ステップ3 コールレコードを強調表示します。
- ステップ4 [クリア] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します。
- 

## 1つのコールレコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1  を押します。
- ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴

## 通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

ステップ4 [削除] を押します。

---

## 通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

## 手順

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

（注） [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。

ステップ4 表示された番号を編集するには、[編集] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。

ステップ5 番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します。

ステップ6 オフフックにしてコールを発信します。

---

## 通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続した状態）

## 手順

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

(注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。

- ステップ 4** 表示された番号を編集するには、[編集] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。
- ステップ 5** 番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します。
- ステップ 6** [ダイヤル] を押します。
- ステップ 7** 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。
- [保留] : 最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。
  - [転送] : 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します。
  - [会議] : 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] または [会議] をもう一度押します。
  - [終了] : 最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。

## 通話履歴内の URL エントリからのコールの発信

SIP 電話のみでサポートされています。

### 手順

- ステップ 1**  を押します。
- ステップ 2** 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴
- ステップ 3** ダイヤルする URL エントリを強調表示します。
- ステップ 4** エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。  
 アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることを示します。
- ステップ 5** [ダイヤル] を押します。

## 不在履歴および着信履歴からの国際コールのリダイヤル

### 手順

- 
- ステップ 1**  を押します。
- ステップ 2** 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 着信履歴
- ステップ 3** リダイヤルするコール レコードを強調表示します。
- ステップ 4** [編集] を押します。
- ステップ 5** 米印 (\*) キーを 1 秒以上押したままにして、プラス (+) 記号を電話番号の最初の桁として追加します。  
+ 記号は番号の最初の桁としてのみ追加できます。
- ステップ 6** [ダイヤル] を押します。
- 

## ディレクトリ機能

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナルディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナルディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられたスピードダイヤルコードです。パーソナルディレクトリは、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルで構成されます。
  - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
  - ファストダイヤルでは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てることができます。

## 社内ディレクトリ

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

### ヒント

- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- ディレクトリ内の電話回線がビジーかどうかを確認するには、ビジーランプフィールドインジケータを確認します。

## 社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ 2** キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。
- ステップ 3** ダイヤルするには、リスト項目を選択するか、リスト項目までスクロールしてハンドセットを取り上げます。
- 

## 社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続している状態）

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ 2** キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。
- ステップ 3** リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。
- ステップ 4** 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。
- [保留]：最初のコールを保留し、2 番目のコールをダイヤルします。
  - [転送]：最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します。
  - [会議]：自分を含むすべての通話参加者との会議コールを作成します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] または [会議] をもう一度押します。
  - [終了]：最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。
-

## パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリ フィーチャセットには、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。 [Web でのパーソナルディレクトリ](#)、(91 ページ) も参照してください。

### ヒント

- ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN は、システム管理者が提供します。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリにプラス (+) 記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## パーソナルディレクトリへのアクセス (PAB およびファストダイヤルコードの検索のため)

### 手順

- 
- ステップ 1  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。
- ステップ 2 Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
-

## PAB エントリの検索

### 手順

- 
- ステップ1 パーソナルディレクトリにアクセスします。
  - ステップ2 [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ3 検索条件を入力し、[送信] を押します。
  - ステップ4 [前へ] または [次へ] を使用してリスト間を移動します。
  - ステップ5 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
- 

## PAB エントリからのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1 リスト項目を検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [ダイヤル] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[ダイヤル] を表示します。
  - ステップ4 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ5 ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。
  - ステップ6 もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
- 

## PAB エントリの削除

### 手順

- 
- ステップ1 リスト項目を検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [削除] を押します。
  - ステップ4 [OK] を選択して、削除することを確認します。
-

## PAB エントリの編集

### 手順

---

- ステップ1 リスト項目を検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。
  - ステップ3 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。
  - ステップ4 [更新] を押します。
- 

## 新規 PAB エントリの追加

### 手順

---

- ステップ1 パーソナルディレクトリにアクセスします。
  - ステップ2 [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ3 [送信] を押して [検索] ページにアクセスします。最初に検索情報を入力する必要はありません。
  - ステップ4 [新規] を押します。
  - ステップ5 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。
  - ステップ6 [電話] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード（9 や 1 など）を必ず含めます。
  - ステップ7 [送信] を選択して、エントリをデータベースに追加します。
- 

## PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

---

- ステップ1 PAB エントリを検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [ファストダイヤル] を押します。
  - ステップ4 ダイヤルする番号を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ5 番号に割り当てる未割り当てのファストダイヤルコードを強調表示し、[選択] を押します。
-

## ファストダイヤルコードの検索

### 手順

- 
- ステップ1  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ2 [前へ] または [次へ] を使用してリスト間を移動します。
  - ステップ3 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
- 

## ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 ファストダイヤルコードを検索します。
  - ステップ2 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [ダイヤル] を押します。
  - ステップ4 [OK] を選択して、操作を完了します。
- 

## ファストダイヤルコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1 ファストダイヤルコードを検索します。
  - ステップ2 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [削除] を押します。
- 

## パーソナルディレクトリからのログアウト

### 手順

- 
- ステップ1  > [パーソナルディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。
  - ステップ2 [ログアウト] を選択します。
-





## 第 7 章

# ボイス メッセージ

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を押します。

電話機で使用するボイスメール サービスは会社が決めます。ご使用のサービスに関する正確な詳細情報については、システム管理者にお問い合わせください。

- [ボイス メッセージ ID, 87 ページ](#)
- [ボイス メッセージ サービスの個人設定, 88 ページ](#)
- [ボイス メッセージの確認またはボイス メッセージ メニューへのアクセス, 88 ページ](#)

## ボイス メッセージ ID

ボイス メッセージがある場合は、次の表示を確認します。

- ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。詳細については、[呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ, \(71 ページ\)](#) を参照してください）。
- メッセージ受信アイコン  の点滅、および電話スクリーンのテキスト メッセージ。

赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にメッセージがある場合だけ表示されます。他の回線でボイスメッセージを受信しても、プライマリ回線にメッセージがなければ表示されません。

ボイス メッセージがある場合、音声で次のように通知されます。

- コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセットまたはスピーカフォンからスタッタ音が聞こえます。

断続トーンは回線ごとに異なります。メッセージを受信している回線を使用している場合のみ、このトーンが聞こえます。

コールをボイスメッセージシステムに送信するには、[即転送]を押します。詳細については、[ボイス メッセージ システムへのコールの転送, \(34 ページ\)](#) を参照してください。

## ボイスメッセージサービスの個人設定

### 手順

- 
- ステップ1**  を押し、音声の指示に従います。
- ステップ2** スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
- 

## ボイスメッセージの確認またはボイスメッセージメニューへのアクセス

### 手順

- 
- ステップ1**  を押し、音声の指示に従います。
- ステップ2** スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。ボイスメッセージサービスに接続すると、ボイスメッセージがある回線がデフォルトで選択されます。複数の回線にボイスメッセージがある場合は、最初の使用可能な回線が選択されます。
- 毎回プライマリ回線上のボイスメッセージサービスに接続する場合は、オプションについてシステム管理者にお問い合わせください。
-



## 第 8 章

# ユーザ オプション Web ページ

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにログインできます。このページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤル ボタンを設定できます。

- [ユーザ オプション Web ページの操作, 89 ページ](#)
- [Web 上での機能およびサービスの設定, 91 ページ](#)

## ユーザ オプション Web ページの操作

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

## ユーザ オプション Web ページへのログイン、ログアウト

スピードダイヤル設定や個人アドレス帳などのユーザオプションを使用するには、ログインする必要があります。ユーザ オプション Web ページの使用を終えたら、ログアウトする必要があります。

ログインしなくても、ユーザ オプション Web ページにアクセスできる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードは、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。  
[Cisco Unified CM のユーザオプション] ホーム ページが表示されます。このページから [ユーザオプション] を選択すると、デバイスを選択してユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、ファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプション Web ページからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
- 

## ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。  
[デバイス設定] ウィンドウが表示されます。[デバイス設定] ウィンドウの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** (任意) 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス (電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル) を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。
- 

## ログイン後の設定オプションの選択

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。
- ステップ 2** 他のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
-

## Web 上での機能およびサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザオプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。詳細については、[ユーザオプション Web ページの操作](#)、(89 ページ) を参照してください。

### Web でのパーソナル ディレクトリ

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ フィーチャ セットは、次の要素で構成されています。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- ファスト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

PAB およびファストダイヤルには、電話機からもアクセスできます。詳細については、[パーソナル ディレクトリ](#)、(82 ページ) を参照してください。

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

### 個人アドレス帳エントリの新規追加

#### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
  - ステップ 4 エントリの情報を入力します。
  - ステップ 5 [保存] を選択します。
-

## ボタンへの個人アドレス帳の割り当て

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 3 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
  - ステップ 4 [サービス URL] を選択します。  
システム管理者はサービスを表示するように電話機を設定します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
  - ステップ 5 [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。
  - ステップ 6 ボタンの電話ラベルを入力します。
  - ステップ 7 [保存] を選択します。
  - ステップ 8 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。  
これでボタンを押すと PAB コードにアクセスできるようになります。
- 

## 個人アドレス帳エントリの編集

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
  - ステップ 3 ニックネームを選択します。
  - ステップ 4 必要に応じてエントリを編集し、[保存] を選択します。
-

## 個人アドレス帳エントリの削除

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2** PAB エントリを検索します。
  - ステップ 3** 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 4** [選択項目の削除] を選択します。
- 

## Web でのファストダイヤル

この項では、ユーザ オプション Web ページからファストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

### ヒント

- 最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤルエントリを作成できます。これらのファストダイヤルエントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキストラベルは表示されません。

### 関連トピック

[Web でのパーソナルディレクトリ](#), (91 ページ)

## ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリエントリへの割り当て

### 手順

- 
- ステップ 1** パーソナルディレクトリにログインします（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
  - ステップ 2** 名前の情報を入力して [送信] ソフトキーを押します。
  - ステップ 3** 名前を選択して [ファスト] ソフトキーを押します。
  - ステップ 4** 番号を選択して [選択] ソフトキーを押します。
  - ステップ 5** [次へ] ソフトキーを押します。
  - ステップ 6** 番号に割り当てる新しいファストダイヤルコードに対して [割り当て] ソフトキーを押します。
-

## 電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
  - ステップ 3 [新規追加]を選択します。
  - ステップ 4 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
  - ステップ 5 電話番号を入力します。
  - ステップ 6 [保存]を選択します。
- 

## 回線ボタンのファストダイヤルへの割り当て



- 
- (注) 回線ボタンをファストダイヤルに割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 

### 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
  - ステップ 2 [サービス URL]をクリックします。
  - ステップ 3 [ボタン]ドロップダウンリストボックスで[ファストダイヤル]サービスを選択します。
  - ステップ 4 ボタンの電話ラベルを入力します。
  - ステップ 5 [保存]をクリックします。
  - ステップ 6 [リセット]をクリックしてから、[リスタート]をクリックします。電話機の設定が更新されます。回線ボタンを押してファストダイヤルコードにアクセスできるようになります。
-

## ファストダイヤル エントリの検索

### 手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ3 検索情報を指定して、[検索]を選択します。

## ファストダイヤル電話番号の編集

### 手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ3 編集するファストダイヤル エントリを検索します。
- ステップ4 エントリのコンポーネントを選択します。
- ステップ5 電話番号を変更します。
- ステップ6 [保存]を選択します。

## 個人アドレス帳のファストダイヤル エントリを削除する

### 手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2 ファストダイヤル エントリを検索します。
- ステップ3 1つまたは複数のエントリを選択します。
- ステップ4 [選択項目の削除]を選択します。

## アドレス帳同期ツール

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期できます。同期後は、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web

ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。 TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明は、システム管理者から提供されます。

## Web でのスピードダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

### 関連トピック

[Web でのファストダイヤル, \(93 ページ\)](#)

[スピードダイヤル, \(45 ページ\)](#)

[パーソナルディレクトリ, \(82 ページ\)](#)

## スピードダイヤルコードを設定する

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
  - ステップ 3 [スピードダイヤル] を選択します。
  - ステップ 4 [短縮ダイヤル設定] 領域で、スピードダイヤルコードの番号とラベルを入力します。
  - ステップ 5 [保存] を選択します。
- 

## 短縮ダイヤルコードの設定

### 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
  - ステップ 3 [スピードダイヤル] をクリックします。
  - ステップ 4 短縮ダイヤルコードの番号とラベルを入力します。
  - ステップ 5 [保存] をクリックします。
-

## Web での電話サービスの設定

電話サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）などがあります。電話機にアクセスする前に、まず電話機サービスに登録する必要があります。

ログインした後に、次のいずれかのボタンを使用してご使用の電話機のサービスにアクセスします。

- 電話機のプログラマブル ボタン：

-  (☎) > [サービス]

- 機能ボタン：

-  メッセージ

-  サービス

-  ディレクトリ

電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、電話機のシステム管理者にお問い合わせください。

設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開かれます。

設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニューからオプションの 1 つを選択します。

## サービスへの登録

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2** [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
  - ステップ 3** [IP Phone サービス] を選択します。
  - ステップ 4** [新規追加] を選択します。
  - ステップ 5** ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。
  - ステップ 6** (任意) 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力したりします。
  - ステップ 7** [保存] を選択します。
-

## サービスの検索

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、デバイスを選択します。
  - ステップ 2 [IP Phone サービス] を選択します。
  - ステップ 3 [検索] を選択します。
- 

## サービスの変更または解除

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
  - ステップ 2 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除] を選択します。
- 

## サービス名の変更

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
  - ステップ 2 サービス名を選択します。
  - ステップ 3 情報を変更して [保存] を選択します。
- 

## プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
  - ステップ 3 [サービス URL] を選択します。

電話機のサービス URL ボタンは、システム管理者が設定します。

- ステップ 4 [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。
- ステップ 5 (任意) サービスの名前を変更する場合は、ラベル フィールドを編集します。  
電話機が、2 バイト文字セットをサポートしていない場合、ASCII ラベル フィールドが使用されます。
- ステップ 6 [保存] を選択します。
- ステップ 7 [リセット] を選択して電話機をリセットし、電話機に新しいボタン ラベルを表示させます。

## Web でのユーザ設定

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## ブラウザのパスワードの変更

### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
- ステップ 3 現在のパスワードを入力します。
- ステップ 4 新しいパスワードを入力します。
- ステップ 5 [パスワードの確認] フィールドに新しいパスワードを再度入力します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。

## PIN の変更

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 3 現在の PIN を入力します。
  - ステップ 4 新しい PIN を入力します。
  - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
  - ステップ 6 [保存] を選択します。
- 

## ユーザ オプション Web ページの言語設定の変更

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 3 [ユーザロケール] 領域で [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
  - ステップ 4 [保存] を選択します。
- 

## 電話機のディスプレイの言語の変更

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
  - ステップ 3 [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
  - ステップ 4 [保存] を選択します。
-

## Web での回線設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイスメッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：[コール転送](#)、[\(35 ページ\)](#) を参照してください。
- 呼出音、表示、およびその他の電話機モデルに固有の設定を変更する：[電話機のカスタマイズ](#)、[\(71 ページ\)](#) を参照してください。

### 回線ごとのコール転送の設定

#### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
- ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 5 [着信コールの転送] 領域で、さまざまな状況に対してコール転送設定を選択します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。

### 回線ごとのボイス メッセージ インジケータ設定の変更

#### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
- ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4 （任意） 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 5 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。

通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。

**ステップ 6** [保存] を選択します。

## 回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定変更

### 手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2** [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
- ステップ 3** [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4** 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 5** [オーディオメッセージ受信ランプ] 領域で、必要な設定を選択します。
- ステップ 6** [保存] を選択します。

## 電話機ディスプレイの回線テキスト ラベルの編集

### 手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2** [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
- ステップ 3** [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4** 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 5** [回線のテキスト ラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。
- ステップ 6** [保存] を選択します。

## モバイルコネクト用、電話機およびアクセスリストの設定

シスコモバイルコネクトを使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールを発信および受信するために使用する携帯電話およびその他の電話機を追加する必要があります。こ

のような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

## アクセス リストの作成

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** [ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[アクセス リスト]を選択します。
- ステップ 3** [新規追加]を選択します。
- ステップ 4** アクセス リストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。
- ステップ 5** 指定されたコールをアクセス リストで許可するのか、ブロックするのかを選択します。
- ステップ 6** [保存]を選択します。
- ステップ 7** [メンバの追加]を選択すると、リストに電話番号やフィルタを追加できます。
- ステップ 8** [フィルタマスク]ドロップダウンリストボックスからオプションを選択します。電話番号、発信者 ID が制限されている (使用不可) コール、発信者 ID 非通知 (非通知) のコールをフィルタすることができます。
- ステップ 9** [フィルタマスク]ドロップダウンリスト ボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク]フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。  
フィルタを定義するときは、次のワイルドカードを使用できます。
- X (大文字または小文字) : 任意の 1 桁に相当します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。
  - ! : 任意の桁数に相当します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。
  - # : 完全一致の 1 桁として使用します。
- ステップ 10** アクセス リストにこのメンバーを追加するには、[保存]を選択します。
- ステップ 11** アクセス リストを保存するには、[保存]を選択します。
- 

## WebDialer の初期設定の設定、表示、または変更

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco WebDialer - コールの開始] ページにアクセスします。  
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページは、WebDialer を初めて使用する時 (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。
- ステップ 2** (オプション) 設定を変更します。

[Cisco WebDialer - コールの開始] ページには、次のオプションがあります。

- a) [優先する言語] : WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。
  - b) [優先するデバイスを使用する] : WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone (発信デバイス) およびディレクトリ番号 (コールに使用する回線) を特定します。
    - 1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機と回線 (またはいずれか一方) を選択できます
    - 複数の電話機を使用している場合、デバイスの種類および MAC アドレスで指定します
- (注) 電話機にホスト名を表示するには、 > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します。
- (注) エクステンションモビリティプロファイルがある場合、発信デバイスのメニューから、エクステンションモビリティログインデバイスを選択できます。
- c) [コールの確認ダイアログを表示しない] : 選択した場合、WebDialer が [Cisco WebDialer - コールの開始] ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンラインディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

## 新しいリモート接続先の追加

### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザオプション] > [モビリティ設定] > [リモート接続先] を選択します。
- ステップ 3 [新規追加] を選択します。
- ステップ 4 次の情報を入力します。
  - [名前] : 携帯 (またはその他の) 電話の名前を入力します。
  - [接続先番号] : 携帯電話番号を入力します。
- ステップ 5 ドロップダウンリスト ボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されています。
- ステップ 6 [携帯電話] チェックボックスをオンにすると、リモート接続先がデスクの電話機から送信されるコールを受信できるようになります。
- ステップ 7 [モバイルコネクトの有効化] チェックボックスをオンにすると、リモート接続先をデスクの電話機と同時に呼びだすことができるようになります。
- ステップ 8 [呼び出しスケジュール] 領域で次のいずれかのオプションを選択します (呼び出しスケジュールのドロップダウンリストボックスには、自分が作成したアクセスリストだけが表示されます)。
  - [常に] : 曜日や時刻を制限せずにリモート接続先で着信音を鳴らす場合は、このオプションを選択します。

- [次に指定されたとおり]：曜日や時刻に基づいて呼び出しスケジュールを設定する場合にこのオプションを選択し、次の項目から選択します。
  - 1 リモート接続先の呼び出しを許可する各曜日のチェックボックスをオンにします。
  - 2 それぞれの曜日について、[終日]を選択するか、ドロップダウンリストから開始時刻と終了時刻を選択します。
  - 3 ドロップダウン リスト ボックスからタイム ゾーンを選択します。

**ステップ 9** 以下の着信音オプションから 1 つ選択します。

- [常にこの接続先を呼び出す]
- [選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す]
- [選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合には、この接続先を呼び出さない]

**ステップ 10** [保存] を選択します。

---

## Cisco WebDialer

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ内の連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。この機能はシステム管理者が設定します。

### ユーザ オプション ディレクトリでの WebDialer の使用

#### 手順

---

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2** [ユーザ オプション] > [ディレクトリ] を選択して同僚を検索します。
  - ステップ 3** ダイアルする番号をクリックします。
  - ステップ 4** WebDialer を初めて使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページで初期設定を行います。
  - ステップ 5** [ダイアル] をクリックします。  
これで電話機からコールが発信されます。
  - ステップ 6** コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話機から切断します。
-

## 別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザオプションディレクトリではないもの）での WebDialer の使用

### 手順

- 
- ステップ 1** WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。
- ステップ 2** ダイヤルする番号をクリックします。
- ステップ 3** プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
- ステップ 4** WebDialer を初めて使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページで初期設定を行います。
- ステップ 5** [ダイヤル] をクリックします。  
これで電話機からコールが発信されます。
- ステップ 6** コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話機から切断します。
- 

## WebDialer からのログアウト

### 手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] ページまたは [Cisco WebDialer - 終了] ページの [ログアウト] アイコンをクリックします。

## WebDialer の初期設定の設定、表示、または変更

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco WebDialer - コールの開始] ページにアクセスします。  
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページは、WebDialer を初めて使用する時（ダイヤルする番号をクリックした後）に表示されます。
- ステップ 2** （オプション）設定を変更します。  
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページには、次のオプションがあります。
- [優先する言語]：WebDialer の設定およびプロンプトで使用される言語を決定します。
  - [優先するデバイスを使用する]：WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone（発信デバイス）およびディレクトリ番号（発信デバイスまたは回線）を特定します。1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線を選択します。複数の電話機を使

用している場合、デバイスの種類および MAC アドレスで指定します 電話機の MAC アドレスを表示するには、 > [設定] > [ネットワークの設定] > [MAC アドレス] を選択します。

(注) エクステンション モビリティ プロファイルがある場合、発信デバイスのメニューから、エクステンション モビリティ ログイン デバイスを選択できます。

- [コールの確認ダイアログを表示しない]：選択した場合、WebDialer が [Cisco WebDialer - コールの開始] ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンラインディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。
  - [自動終了の無効化]：これを選択すると、コールウィンドウが15秒後に自動的に閉じられなくなります。
-





## 第 9 章

### その他のオプション

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。

この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html) 日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/index\\_ippt\\_ipp.shtml](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ippt_ipp.shtml)

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	1つ以上の追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
スピードダイヤルボタンが足りない	まず、現在利用可能なスピードダイヤルボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。  追加のスピードダイヤルボタンが必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤルサービスへの登録を検討してください。  または、Cisco Unified IP Phone Expansion Module を電話機に接続してください。  (注) Cisco Unified IP Phone 7942G、7941G、および 7941G-GE は、Cisco Unified IP Phone Expansion Module をサポートしていません。	次の各項を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">スピードダイヤル</a>, (45 ページ)</li><li>• 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7914 Phone Guide』</li><li>• 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7915 Phone Guide』</li><li>• 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7916 Phone Guide』</li></ul>

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager Assistant</li> <li>• 共有回線</li> </ul>	<p>次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">共有回線</a>, (51 ページ)</li> <li>• 『Cisco Unified Communications Manager Assistant User Guide』</li> </ul>
1つの内線を複数の電話機で使用する	<p>共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用できます。</p>	<p>詳細については、<a href="#">共有回線</a>, (51 ページ) を参照してください。</p>
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンションモビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">応用的なコール処理</a>, (45 ページ)</li> <li>• <a href="#">共有回線</a>, (51 ページ)</li> <li>• <a href="#">Cisco エクステンションモビリティ</a>, (60 ページ)</li> </ul>
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	<p>電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。</p>	<p>詳細については、<a href="#">ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答</a>, (69 ページ) を参照してください。</p>
ビデオコールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	<p>Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオカメラを使用してビデオコールを発信できます。</p>	<p>詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified Video Advantage Quick Start Guide』および『Cisco Unified Video Advantage User Guide』を参照してください。</p>
電話機のスピードダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	<p>電話機のビジールンプフィールド (BLF) 機能を設定するように、管理者に依頼します。</p>	<p>詳細については、<a href="#">ビジールンプフィールド機能</a>, (54 ページ) を参照してください。</p>

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	詳細については、 <a href="#">Cisco エクステンション モビリティ</a> 、(60 ページ) を参照してください。





## 第 10 章

# トラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

- [問題, 113 ページ](#)
- [電話機のトラブルシューティング データ, 118 ページ](#)
- [品質レポート ツール, 118 ページ](#)

## 問題

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない

### 問題

ダイヤル トーンが聞こえないか、コールを完了できない。

### 原因

次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。

- エクステンション モビリティ サービスに接続していない。
- 電話番号をダイヤルした後で、クライアント識別マターコード (CMC) または強制承認コード (FAC) を入力する必要がある (SCCP 電話機のみ)。
- 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっている。

### ソリューション

次の手順を試してみてください。

- エクステンション モビリティ サービスにログインします。
- 電話番号をダイヤルした後で、CMC または FAC を入力します（SCCP 電話機のみ）。
- 特定の時間帯に一部の機能を使用できないようにしている時間帯制限を変更します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## ソフトキーが表示されない

### 問題

使用したいソフトキーが表示されない。

### 原因

次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。

- 別のソフトキーが表示されている。
- 回線の状態によって電話機のソフトキーが決まる。
- 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていない。

### ソリューション

次のいずれかのオプションを選択してください。

- [次へ] を押して追加のソフトキーを表示します。
- 回線の状態を変更します（オフフックにする、または接続コールにするなど）。
- この機能にアクセスするには、システム管理者にお問い合わせください。

## 割り込みが不可能で速いビジー音が聞こえる

### 問題

割り込みが失敗し、速いビジー音が聞こえる。

### 原因

使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化済みコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。

## 割り込み後のコールの切断

### 問題

割り込みを使用して参加したコールが切断される。

### 原因

割り込みを使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

### ソリューション

コールに再度割り込みます。

## 設定メニューにアクセスできない

### 問題

設定ボタンが反応しない。

### 原因

システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。

### ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

## 折返しが使用できない

### 問題

折返しが失敗する。

### 原因

通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

## すべてのコールの転送エラーメッセージ

### 問題

すべてのコールの転送を設定しようとする、電話機にエラーメッセージが表示される。

### 原因

すべてのコールの転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップ カウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。

### ソリューション

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## セキュリティ エラー メッセージ

### 問題

ご使用の電話機に「セキュリティエラー」と表示される。

### 原因

電話機のファームウェアが内部エラーを識別しました。

### ソリューション

メッセージが引き続き表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

## 電話機が反応しない

### 問題

電話機のスクリーンに空白が表示され、表示ボタンが点灯しない。

### 原因

電話機は、節電のために電源オフ（スリープ中）になっています。

### ソリューション

電話機は、システムがウェイクアップメッセージを送信すると電源オン（復帰した状態）になります。スケジュールされた電源オン時間よりも前に電話機を復帰させることはできません。

## 電話スクリーンが明るすぎるまたは暗すぎる (Cisco Unified IP Phone 7961G、7961G-GE、7941G、および 7941G-GE)

### 問題

電話スクリーンが明るすぎるか暗すぎて文字が読めない。

### 原因

画面設定を変更し、スクリーンを明るすぎるまたは暗すぎる状態に設定しました。

### ソリューション

- 1  を選択します。
- 2 キーパッドで 1、3 を押します。
- 3 電話スクリーンの表示が見えるようになるまで  を押します。
- 4 [保存] を押します。

## 電話スクリーンが明るすぎるまたは暗すぎる (Cisco Unified IP Phone 7962G/7942G)

### 問題

電話スクリーンが明るすぎるか暗すぎて文字が読めない。

### 原因

画面設定を変更し、スクリーンを明るすぎるまたは暗すぎる状態に設定しました。

### ソリューション

- 1  を選択します。
- 2 キーパッドで 1、4 を押します。
- 3 電話スクリーンの表示が見えるようになるまで  を押します。
- 4 [保存] を押します。

## 電話機のトラブルシューティング データ

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	操作
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク設定の項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス] > [コール統計] を選択します。
データの送受信に関する VPN パフォーマンス情報にアクセスする	 > [ステータス] > [ネットワーク統計] を選択します。

## 品質レポート ツール

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。[QRT] または [品質レポート ツール] を押して、システム管理者に情報を送信できます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。



付録

# A

## 保証

---

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 119 ページ

## シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN\\_\\_.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html)

